

第2章 高齢者の生きがいと地域生活に関する調査

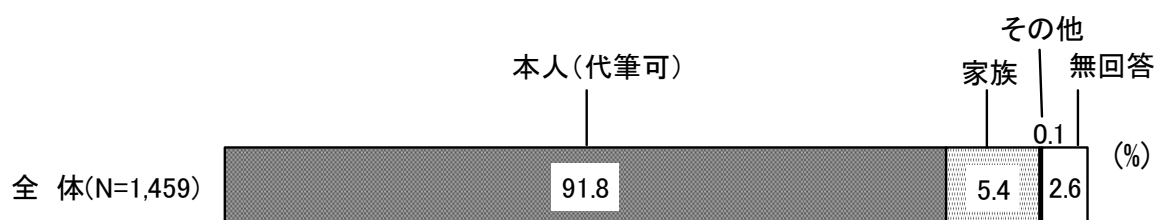
1 基本属性

(1) 回答者（問1）

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。（1つに○）

回答者は「本人（代筆可）」が91.8%、「家族」が5.4%である。

図表 2-1 回答者（全体）



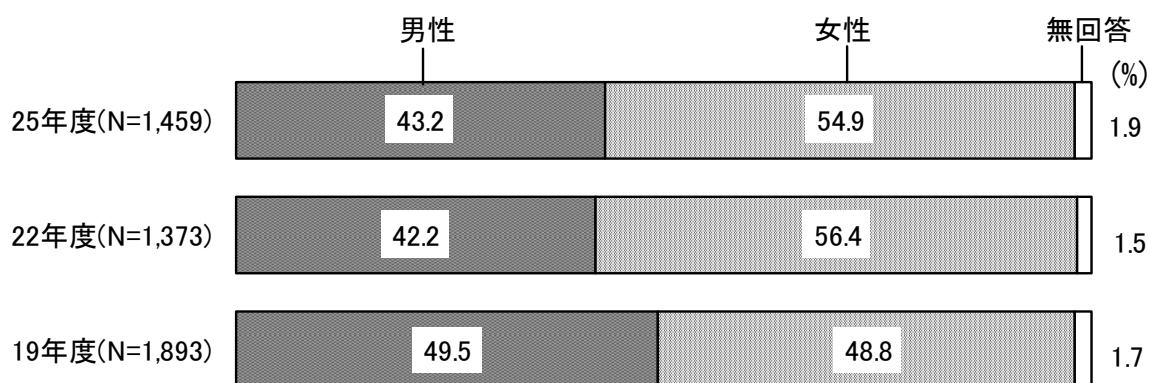
(2) 性別・年齢（問2）

問2 あなたの性別をお答えください。（1つに○）また、平成25年10月1日現在の年齢をご記入ください。

「男性」が43.2%、「女性」が54.9%である。

19年度は男女比がほぼ同じであったが、22年度、25年度は女性の割合が男性の割合を上回っている。

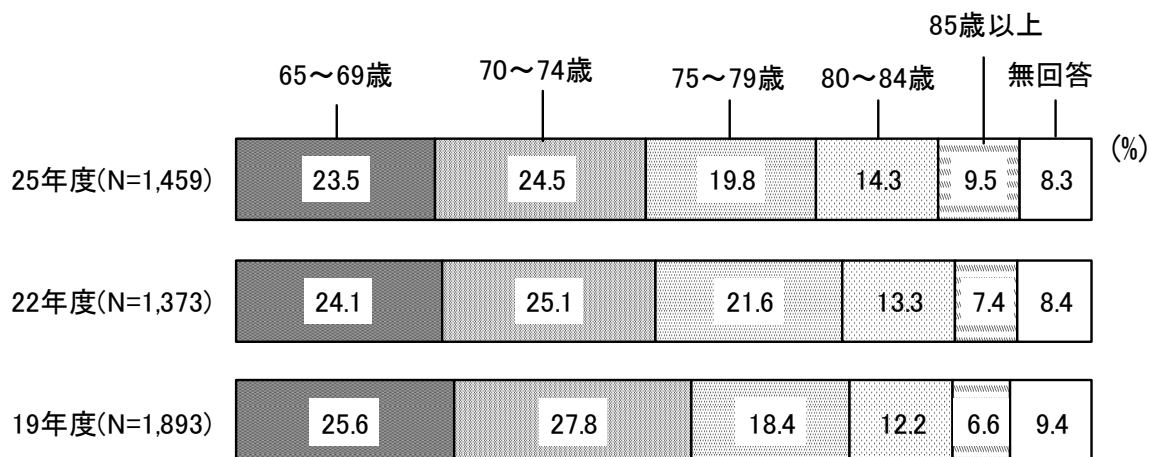
図表 2-2 性別（全体）【前回比較】



II アンケート調査の結果

年齢は74歳以下が48.0%，75歳以上が43.6%であり，平均は74.9歳である。前回調査でも「70～74歳」，「65～69歳」，「75～79歳」の順となっているが，平均年齢は調査の回数ごとに高くなっている。

図表 2-3 年齢（全体）【前回比較】

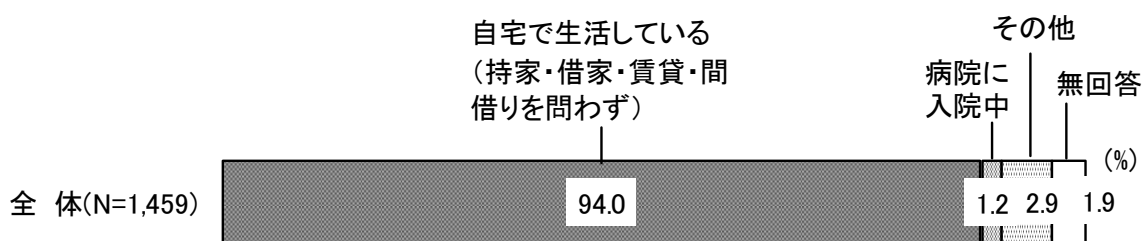


(3) 生活しているところ（問3）

問3 あなたは，どこで生活していますか。現在の状況をお答えください。（1つに〇）

生活しているところは，「自宅で生活している（持ち家・借家・賃貸・間借りを問わず）」が94.0%，「病院に入院中」が1.2%である。

図表 2-4 生活しているところ（全体）



(4) 家族の構成 (問4)

問4 現在、あなたがいっしょに暮らしているご家族の構成は、次のどれですか。(1つに○)

家族構成は「夫婦のみ(配偶者は65歳以上)(39.1%)」が最も多く、「夫婦のみ(配偶者は65歳未満)(4.5%)」と合わせると、夫婦のみ世帯は43.6%となっている。「ひとり暮らし」は20.3%である。

性・年代別にみると、女性の75～79歳、女性の80～84歳では3割以上、女性の85歳以上では40.4%が「ひとり暮らし」で、他の性・年代に比べ高くなっている。

日常生活圏域別では、北部では「ひとり暮らし」が12.3%と低い。

居住地域別では、第4地域で「ひとり暮らし」が8.3%と最も低く、「夫婦のみ(配偶者は65歳以上)」が51.0%と半数を超えている。

図表 2-5 家族の構成(全体、性・年代別、日常生活圏域別、居住地域別)

		ひとり暮らし	65歳以上の夫婦のみ(配偶者は)	65歳未満の夫婦のみ(配偶者は)	65歳以上のひとり暮らし世帯、全員が65歳以上の夫婦	その他	無回答	
全体 (N=1,459)		20.3	39.1	4.5	2.3	31.4	2.5	
性・年代別	男性	65～69歳 (n=142)	13.4	30.3	16.9	4.9	34.5	0.0
		70～74歳 (n=169)	9.5	46.7	10.1	2.4	29.6	1.8
		75～79歳 (n=125)	9.6	61.6	2.4	0.8	25.6	0.0
		80～84歳 (n=87)	12.6	59.8	0.0	1.1	25.3	1.1
		85歳以上 (n=45)	20.0	42.2	2.2	0.0	35.6	0.0
	女性	65～69歳 (n=201)	22.4	36.8	5.5	2.0	32.3	1.0
		70～74歳 (n=187)	21.4	40.6	1.1	3.2	32.6	1.1
		75～79歳 (n=162)	30.2	35.8	0.0	1.2	32.1	0.6
80～84歳 (n=122)		32.0	29.5	0.0	0.8	35.2	2.5	
日常生活圏域別	東部 (n=348)	22.7	39.9	4.3	2.6	29.6	0.9	
	西部 (n=240)	22.5	34.6	5.4	2.1	33.3	2.1	
	南部 (n=518)	23.2	40.3	3.7	2.1	30.3	0.4	
	北部 (n=308)	12.3	43.2	5.8	1.6	36.4	0.6	
居住地域別	第1地域 (n=70)	17.1	41.4	5.7	2.9	31.4	1.4	
	第2地域 (n=227)	22.5	41.4	4.0	2.2	29.1	0.9	
	第3地域 (n=125)	22.4	36.0	8.8	2.4	30.4	0.0	
	第4地域 (n=96)	8.3	51.0	4.2	1.0	34.4	1.0	
	第5地域 (n=94)	17.0	39.4	4.3	2.1	36.2	1.1	
	第6地域 (n=129)	20.2	35.7	2.3	3.1	38.0	0.8	
	第7地域 (n=265)	23.4	40.0	4.5	2.3	29.4	0.4	
	第8地域 (n=168)	20.2	44.6	3.0	1.2	31.0	0.0	
	第9地域 (n=122)	19.7	36.9	5.7	1.6	33.6	2.5	
	第10地域 (n=118)	25.4	32.2	5.1	2.5	33.1	1.7	

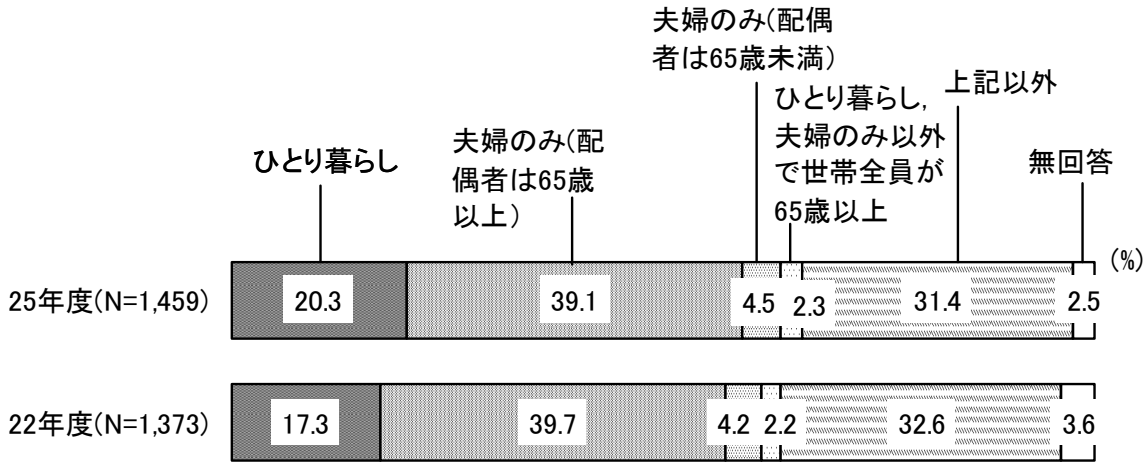
【日常生活圏域の地区割】(調布市高齢者総合計画における区分による)

日常生活圏域	該当地区
東部	菊野台, 東つつじヶ丘, 西つつじヶ丘, 入間町, 仙川町, 緑ヶ丘, 若葉町
西部	飛田給, 上石原, 富士見町, 下石原, 多摩川1・2丁目, 野水, 西町
南部	小島町, 布田, 国領町, 染地, 多摩川3・4・5・6・7丁目, 調布ヶ丘1・2丁目, 八雲台
北部	佐須町, 柴崎, 調布ヶ丘3・4丁目, 深大寺元町, 深大寺北町, 深大寺東町, 深大寺南町

II アンケート調査の結果

家族構成は、22年度調査に比べ「ひとり暮らし」が17.3%から20.3%と3.0ポイント高くなっている。

図表 2-6 家族の構成（全体）【前回比較】

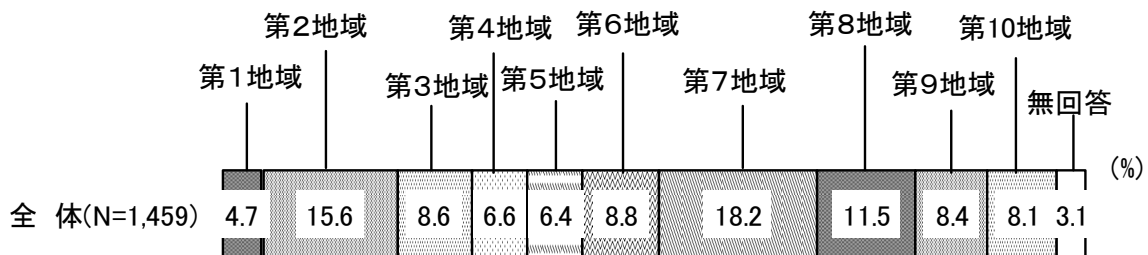


(5) 居住地（問5）

問5 現在、あなたがお住まいの地域を、記入例を参考に町名を記入してください。

この調査の回答については、居住地は、「第7地域（18.2%）」が最も多く、「第2地域（15.6%）」「第8地域（11.5%）」などが続いている。

図表 2-7 居住地（全体）

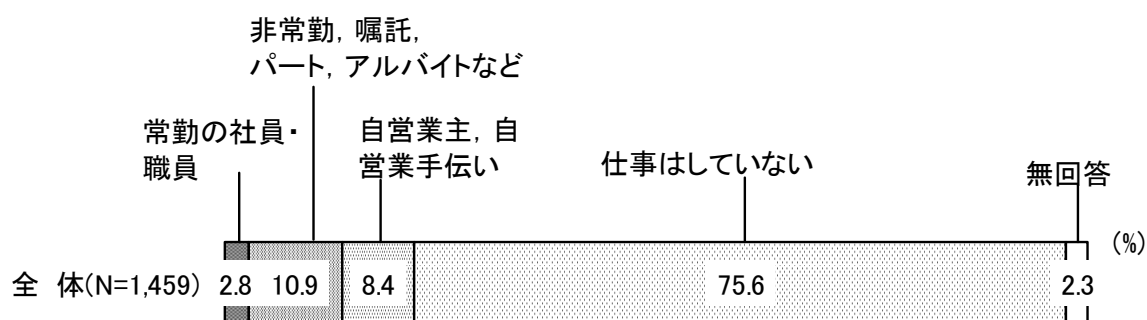


(6) 就労状況（問6）

問6 あなたは現在、どのような仕事をしていますか。（1つに○）

就労状況は「仕事はしていない（75.6%）」が最も多く、「非常勤、嘱託、パート、アルバイトなど（10.9%）」と「自営業主、自営業手伝い（8.4%）」がどちらも1割程度である。「常勤の社員・職員」は2.8%である。

図表 2-8 就労状況（全体）



2 住まいや居留意向

(1) 居住形態（問7）

問7 あなたのお住まいは、次のどれですか。（1つに○）

住居形態は「持ち家の一戸建て（50.1%）」が最も多く、「持ち家の集合住宅（マンション、アパートなど）（20.2%）」、「賃貸の集合住宅（マンション、アパートなど）（10.6%）」、「公営住宅（市営・都営住宅など）（10.2%）」が続いている。

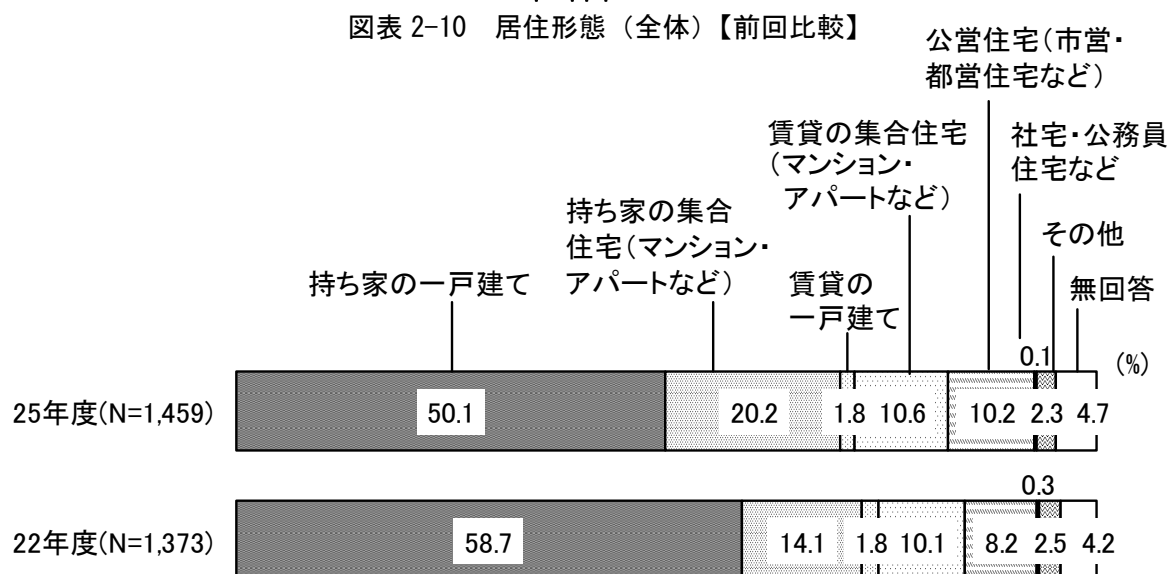
性・年代別にみると、いずれも「持ち家の一戸建て」が最も多く、いずれの性・年代も4割を超えている。また、全体では「公営住宅（市営・都営住宅など）」は10.2%であるが、男性の85歳以上、女性の85歳以上は他の性・年代に比べ高くなっている。

日常生活圏域別でみると、北部で「持ち家一戸建て」が70.1%と高く、居住地域別では第4地域と第5地域で「持ち家一戸建て」の割合が高い。また、第1地域と第7地域で「公営住宅（市営・都営住宅など）」の割合が高く、地域によって高齢者の住宅の形態に違いが見られる。

図表 2-9 居住形態（全体、性・年代別、日常生活圏域別、居住地域別）

			持ち家の一戸建て	持ち家の集合住宅（マンション・アパートなど）	賃貸の一戸建て	賃貸の集合住宅（マンション・アパートなど）	公営住宅（市営・都営住宅など）	社宅・公務員住宅など	その他	無回答	
全 体		(N=1,459)	50.1	20.2	1.8	10.6	10.2	0.1	2.3	4.7	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	43.0	23.2	2.1	12.7	11.3	0.0	1.4	6.3
		70～74歳	(n=169)	52.7	18.9	1.2	12.4	10.1	0.0	1.2	3.6
		75～79歳	(n=125)	52.8	21.6	2.4	9.6	8.0	0.0	2.4	3.2
		80～84歳	(n=87)	56.3	17.2	1.1	6.9	9.2	0.0	1.1	8.0
		85歳以上	(n=45)	57.8	15.6	0.0	11.1	15.6	0.0	0.0	0.0
	女性	65～69歳	(n=201)	45.3	26.9	2.0	13.9	8.0	0.0	0.5	3.5
		70～74歳	(n=187)	50.3	19.8	2.7	11.8	10.2	0.0	3.2	2.1
		75～79歳	(n=162)	52.5	18.5	1.2	11.7	9.9	0.0	1.2	4.9
		80～84歳	(n=122)	53.3	14.8	0.0	8.2	12.3	1.6	4.9	4.9
		85歳以上	(n=94)	52.1	13.8	0.0	5.3	14.9	0.0	11.7	2.1
日常生活圏域別	東部	(n=348)	52.9	11.2	1.7	15.2	13.5	0.3	2.3	2.9	
	西部	(n=240)	54.2	19.6	1.7	9.6	6.7	0.0	2.5	5.8	
	南部	(n=518)	34.7	31.5	1.2	11.0	13.9	0.0	2.9	4.8	
	北部	(n=308)	70.1	12.0	2.6	6.2	2.9	0.3	1.3	4.5	
居住地域別	第1地域	(n=70)	47.1	10.0	2.9	7.1	28.6	0.0	1.4	2.9	
	第2地域	(n=227)	55.1	8.4	1.3	18.1	11.5	0.0	2.2	3.5	
	第3地域	(n=125)	50.4	28.8	0.8	9.6	4.8	0.8	2.4	2.4	
	第4地域	(n=96)	70.8	9.4	5.2	6.3	2.1	0.0	3.1	3.1	
	第5地域	(n=94)	83.0	0.0	1.1	7.4	2.1	1.1	0.0	5.3	
	第6地域	(n=129)	48.1	31.8	3.1	11.6	0.8	0.0	1.6	3.1	
	第7地域	(n=265)	26.4	29.8	0.8	11.7	23.8	0.0	2.6	4.9	
	第8地域	(n=168)	48.2	28.6	1.2	7.1	4.8	0.0	3.6	6.5	
	第9地域	(n=122)	54.9	24.6	0.8	13.1	0.8	0.0	1.6	4.1	
	第10地域	(n=118)	53.4	14.4	2.5	5.9	12.7	0.0	3.4	7.6	

22年度と比べ「持ち家の一戸建て」の割合が58.7%から50.1%と8.6ポイント低くなり、「持ち家の集合住宅(マンション・アパートなど)」が14.1%から20.2%と6.1ポイント高くなっている。



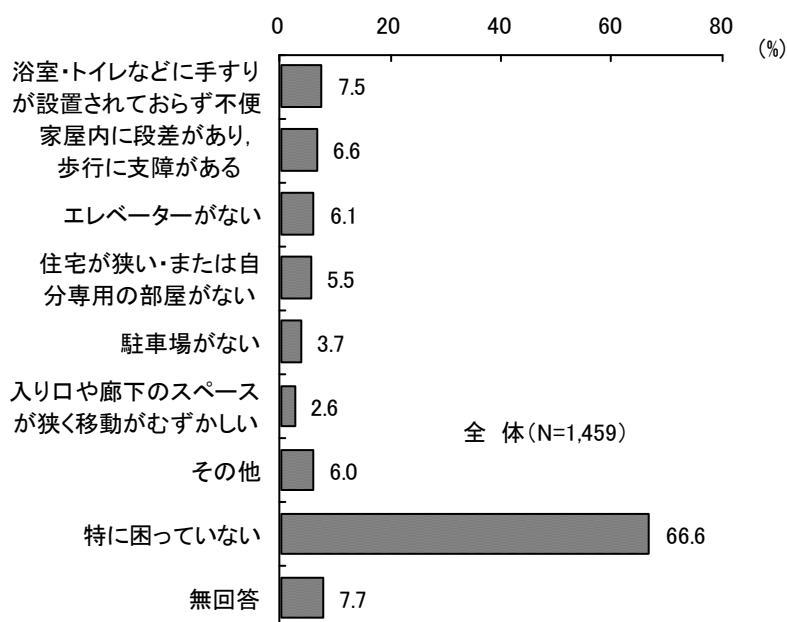
(2) 住まいの困りごと【設備設計について】(問8(1))

問8 お住まいについて何か困っていることがありますか。

(1) 設備設計について(いくつでも○)

住まいの困りごとは、設計設備では「浴室・トイレなどに手すりが設置されておらず不便(7.5%)」が最も多く、「家屋内に段差があり、歩行に支障がある(6.6%)」、「エレベーターがない(6.1%)」が続いている。「特に困っていない」は66.6%となっている。

図表 2-11 住まいの困りごと【設備設計について】(全体:複数回答)

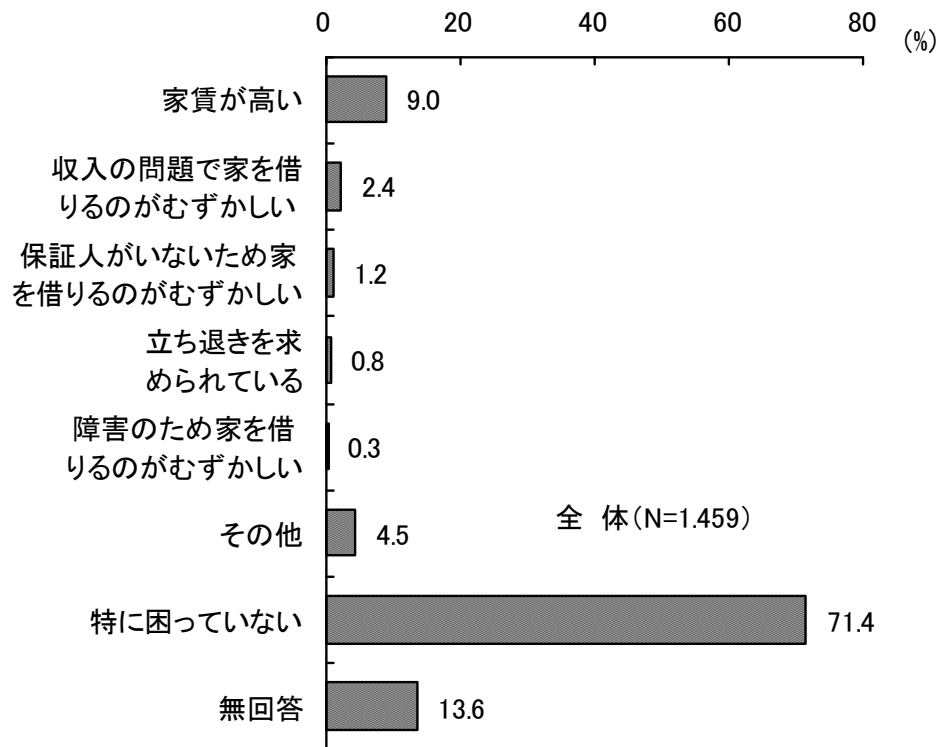


(3) 住まいの困りごと[住宅事情について] (問8 (2))

問8 お住まいについて何か困っていることがありますか。
 (2) 住宅事情について (いくつでも○)

住まいの困りごとについては、「家賃が高い (9.0%)」が最も多くなっている。また、「特に困っていない (71.4%)」は7割を超えている。

図表 2-12 住まいの困りごと[住宅事情について] (全体：複数回答)



3 日ごろの悩みと相談

(1) 地域での暮らしの中で身近に感じる不安や課題（問9）

問9 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題と覚えることがありますか。身近に覚える不安や課題をお答へください。（いくつでも○）

地域での暮らしの中での不安や課題は、「健康のこと（46.5%）」が最も多く、「老後の生活のこと（33.2%）」、「介護のこと（24.2%）」、「災害時のこと（23.5%）」が続いている。「特にない」は26.0%である。

性・年代別では女性の85歳以上で「介護のこと」が38.3%と「健康のこと（56.4%）」に続き高い割合となっている。

家族構成別でみると、ひとり暮らしで「孤立死のこと」が21.6%で他の家族構成と比べ高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 2-13 地域での暮らしの中で身近に感じる不安や課題

(全体、性・年代別、家族構成別：複数回答)

			健康のこと	老後の生活のこと	介護のこと	災害時のこと	防犯・地域の安全のこと	葬儀・墓のこと	住まいや住宅のこと	
全体		(N=1,459)	46.5	33.2	24.2	23.5	11.7	9.5	9.1	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	41.5	38.0	21.1	19.7	15.5	9.9	9.2
		70～74歳	(n=169)	42.0	37.3	17.8	19.5	10.7	15.4	10.1
		75～79歳	(n=125)	51.2	35.2	30.4	24.0	7.2	12.0	11.2
		80～84歳	(n=87)	56.3	26.4	21.8	28.7	13.8	8.0	5.7
	85歳以上	(n=45)	57.8	26.7	33.3	26.7	13.3	4.4	11.1	
	女性	65～69歳	(n=201)	42.3	41.8	18.9	24.9	8.0	9.0	12.9
		70～74歳	(n=187)	46.0	38.5	21.9	24.6	16.0	8.0	8.6
		75～79歳	(n=162)	38.3	27.8	25.3	16.7	12.3	8.6	13.6
80～84歳		(n=122)	57.4	28.7	31.1	30.3	13.1	6.6	6.6	
85歳以上	(n=94)	56.4	21.3	38.3	28.7	7.4	6.4	3.2		
家族構成別	ひとり暮らし	(n=296)	53.7	34.1	26.0	23.6	10.1	8.8	10.8	
	夫婦のみ（配偶者は65歳以上）	(n=571)	50.3	37.7	24.5	25.9	13.5	11.7	8.9	
	夫婦のみ（配偶者は65歳未満）	(n=65)	49.2	46.2	29.2	26.2	16.9	12.3	13.8	
	上記構成以外で世帯全員が65歳以上	(n=33)	30.3	27.3	24.2	30.3	15.2	3.0	9.1	
その他	(n=458)	38.6	27.1	22.5	20.7	9.8	7.2	7.9		

			と（気軽に関）が少なくなるこ	孤立死のこと	ち近所づきあいのこと、友だ	仕事のこと	その他	特にな	無回答	
全体		(N=1,459)	7.5	6.7	4.0	3.8	3.1	26.0	5.4	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	7.0	7.0	4.2	10.6	2.8	26.8	7.0
		70～74歳	(n=169)	4.1	7.1	3.0	6.5	3.6	24.3	3.6
		75～79歳	(n=125)	8.0	4.8	1.6	4.0	4.0	25.6	4.0
		80～84歳	(n=87)	9.2	5.7	3.4	3.4	5.7	24.1	8.0
	85歳以上	(n=45)	13.3	4.4	2.2	0.0	0.0	20.0	4.4	
	女性	65～69歳	(n=201)	7.5	8.0	5.0	6.0	3.0	29.9	3.5
		70～74歳	(n=187)	10.7	5.9	8.0	2.1	2.7	25.7	3.2
		75～79歳	(n=162)	6.2	7.4	3.7	1.2	1.9	31.5	5.6
80～84歳		(n=122)	8.2	9.0	3.3	1.6	3.3	23.0	7.4	
85歳以上	(n=94)	4.3	10.6	2.1	0.0	5.3	26.6	2.1		
家族構成別	ひとり暮らし	(n=296)	11.1	21.6	3.7	6.8	4.1	19.3	5.7	
	夫婦のみ（配偶者は65歳以上）	(n=571)	7.7	3.9	4.2	2.5	2.6	26.1	3.5	
	夫婦のみ（配偶者は65歳未満）	(n=65)	7.7	4.6	1.5	10.8	1.5	16.9	9.2	
	上記構成以外で世帯全員が65歳以上	(n=33)	6.1	0.0	3.0	6.1	12.1	30.3	0.0	
その他	(n=458)	5.5	1.7	4.4	2.4	2.6	31.4	6.1		

(2) 暮らし向き (問10)

問10 あなたの暮らし向きは、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

暮らし向きについては、「あまり余裕がない(40.8%)」が最も多く、「余裕がない(18.6%)」と合わせると59.4%が《余裕がない》と感じている。一方、「余裕がある(31.9%)」と「とても余裕がある(1.6%)」を合わせると3割台となっている。

性・年代別にみると、男性の85歳以上で「余裕がない」が31.1%と他の性・年代に比べ高い割合となっている。

居住地域別では、第1地域が「余裕がない」が31.4%と他の地域に比べ高い割合となっている。

健康状態別でみると、大変健康であると回答した方は「余裕がある」が51.5%と半数を超え、生活のはりあい感別でみると《感じる》(とても感じる・少し感じるの合計)と回答した方は「余裕がある」が39.4%で、《感じない》(あまり感じない・感じないの合計)と回答した方より21.8ポイント上回っている。

図表2-14 暮らし向き (全体, 性・年代別, 居住地域別, 健康状態別, 生活のはりあい感別)

			とても 余裕が ある	余 裕が ある	あ ま り 余 裕 が な い	余 裕 が な い	無 回 答	
全 体		(N=1,459)	1.6	31.9	40.8	18.6	7.0	
性・ 年代別	男 性	65～69歳	(n=142)	0.7	31.0	43.7	17.6	7.0
		70～74歳	(n=169)	3.6	29.0	41.4	21.9	4.1
		75～79歳	(n=125)	1.6	27.2	46.4	19.2	5.6
		80～84歳	(n=87)	2.3	25.3	49.4	12.6	10.3
		85歳以上	(n=45)	4.4	24.4	37.8	31.1	2.2
	女 性	65～69歳	(n=201)	1.0	34.8	40.3	18.4	5.5
		70～74歳	(n=187)	0.5	34.8	39.6	19.3	5.9
		75～79歳	(n=162)	0.6	33.3	37.7	21.0	7.4
		80～84歳	(n=122)	1.6	35.2	41.8	12.3	9.0
		85歳以上	(n=94)	1.1	39.4	38.3	17.0	4.3
居 住 地 域 別	第1地域	(n=70)	2.9	15.7	41.4	31.4	8.6	
	第2地域	(n=227)	0.4	33.5	43.6	17.6	4.8	
	第3地域	(n=125)	2.4	38.4	38.4	15.2	5.6	
	第4地域	(n=96)	1.0	33.3	49.0	10.4	6.3	
	第5地域	(n=94)	2.1	42.6	31.9	17.0	6.4	
	第6地域	(n=129)	3.1	30.2	45.0	17.1	4.7	
	第7地域	(n=265)	0.4	26.8	44.5	21.9	6.4	
	第8地域	(n=168)	1.8	42.3	29.8	17.3	8.9	
	第9地域	(n=122)	2.5	28.7	42.6	18.9	7.4	
	第10地域	(n=118)	0.8	28.8	43.2	17.8	9.3	
健 康 状 態 別	大変健康である	(n=97)	6.2	51.5	20.6	8.2	13.4	
	おおむね健康で普通に生活している	(n=953)	1.4	34.9	41.4	16.4	5.9	
	病気や障害がある	(n=388)	1.0	20.6	45.1	26.0	7.2	
生 活 の は り あ い 感 別	感じる	(n=916)	2.2	39.4	39.3	10.9	8.2	
	感じない	(n=467)	0.4	17.6	45.6	33.0	3.4	

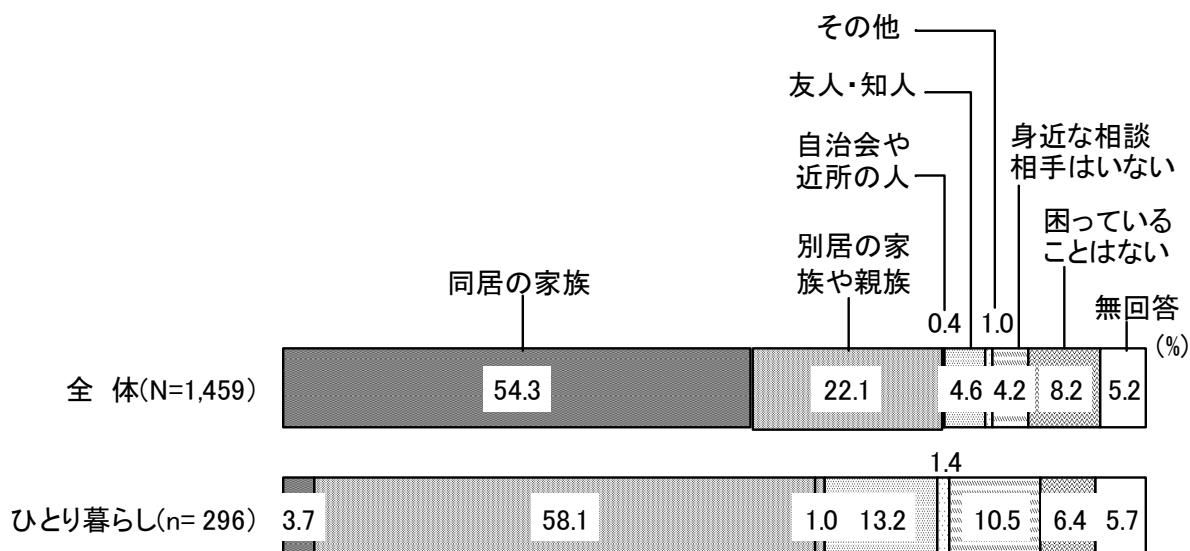
(3) 日常生活の中で困ったときに、主に相談できる相手（問 11）

問 11 あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる相手は次のうちどなたですか。
（1つに○）

困ったときに主に相談できる相手は、「同居の家族（54.3%）」が最も多く、「別居の家族や親族（22.1%）」などが続いている。また、「身近な相談相手はいない」が4.2%、「困っていることはない」は8.2%となっている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしは、「別居の家族や親族（58.1%）」が最も多く、「友人・知人」が13.2%で続いている。「身近な相談相手はいない」は10.5%で、全体を6.3ポイント上回っている。

図表 2-15 日常生活の中で困ったときに、主に相談できる相手
（全体、家族構成別（ひとり暮らし））

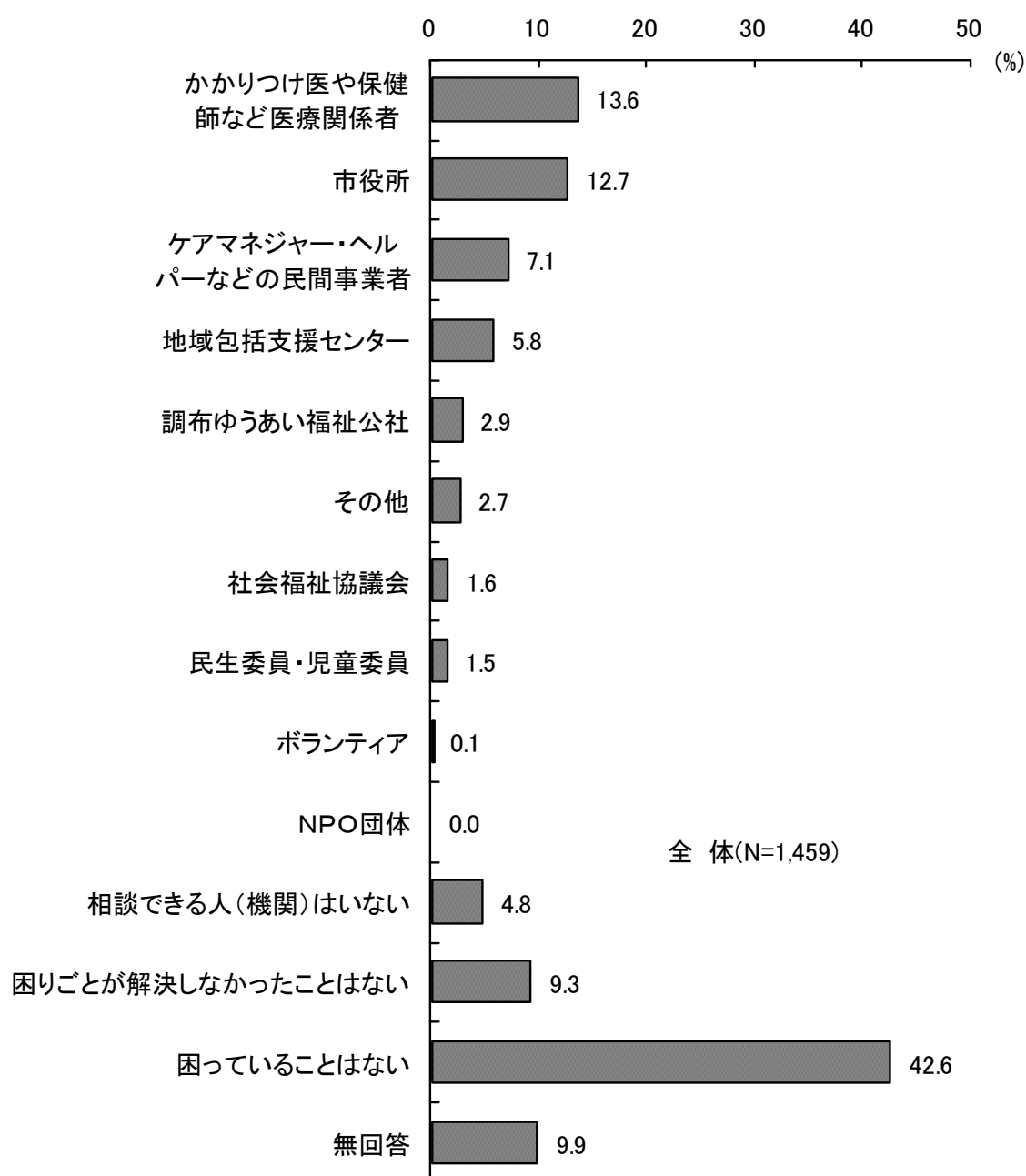


(4) 困りごとが解決しない際に相談する専門機関（問12）

問12 あなたは、身近な方に相談しても困りごとが解決しなかったとき、次のようなところに相談したことがありますか。（いくつでも○）

困りごとが解決しない際に相談する専門機関は、「かかりつけ医や保健師など医療関係者（13.6%）」が最も多く、「市役所（12.7%）」とともに1割を超えている。「相談できる人（機関）はいない」は4.8%、「困っていることはない」が42.6%となっている。

図表 2-16 身近な方に相談しても困りごとが解決しなかったときの相談先（全体：複数回答）



4 健康・医療

(1) 「高齢者」を意識する年齢（問 13）

問 13 あなたが、「高齢者」と意識する年齢は、何歳からだと思っていますか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。（1つに○）

「高齢者」を意識する年齢は、「75歳以上（33.9%）」と「70歳以上（33.6%）」がそれぞれ3割以上で、「80歳以上（23.2%）」が続いている。57.1%が75歳以上と考えている。

性・年代別にみると男性の65～69歳では「65歳以上」が17.6%と他の性・年代に比べ高くなっている。男女とも80～84歳と85歳以上で「80歳以上」との回答がいずれも4割を超えており、ご自身の年齢が「高齢者」を意識する年齢との関わりが大きいものと考えられる。

健康状態別でみると、大変健康であるとの回答者の46.4%が「75歳以上」を「高齢者」を意識する年齢と回答している。

図表 2-17 「高齢者」を意識する年齢（全体、性・年代別、健康状態別）

			60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	無回答	
全体		(N=1,459)	1.2	6.3	33.6	33.9	23.2	1.8	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	2.1	17.6	40.1	28.9	9.9	1.4
		70～74歳	(n=169)	3.6	3.6	44.4	36.7	11.2	0.6
		75～79歳	(n=125)	0.0	4.0	38.4	34.4	21.6	1.6
		80～84歳	(n=87)	1.1	0.0	27.6	27.6	42.5	1.1
		85歳以上	(n=45)	0.0	2.2	15.6	33.3	44.4	4.4
	女性	65～69歳	(n=201)	1.0	7.0	44.8	34.3	11.9	1.0
		70～74歳	(n=187)	1.6	4.8	36.9	38.5	16.6	1.6
		75～79歳	(n=162)	0.6	8.0	29.6	37.0	22.8	1.9
		80～84歳	(n=122)	0.8	1.6	18.9	34.4	41.8	2.5
		85歳以上	(n=94)	0.0	5.3	16.0	30.9	44.7	3.2
健康状態別	大変健康である	(n=97)	1.0	2.1	16.5	46.4	34.0	0.0	
	おおむね健康で普通に生活している	(n=953)	0.9	5.0	35.4	36.0	22.1	0.5	
	病気や障害がある	(n=388)	2.1	10.6	34.5	27.1	24.2	1.5	

(2) 主観的健康観（問 14）

問 14 あなたの健康状態は、いかがですか。もっとも近いものをお答えください。（1つに○）

主観的健康観は、「おおむね健康で普通に生活している（65.3%）」が最も多く、「大変健康である（6.6%）」と合わせると、「健康である」は71.9%である。「病気や障害がある（26.6%）」はおよそ4分の1となっている。

性・年代別にみると、男女ともに年代があがるほど「病気や障害がある」割合が高くなり、男性の85歳以上では66.7%、女性の85歳以上では55.3%が「病気や障害がある」としている。

図表 2-18 主観的健康観（全体、性・年代別）

			(%)			
			大変健康である	通におおむね健康で普通に生活している	病気や障害がある	無回答
全 体 (N=1,459)			6.6	65.3	26.6	1.4
性・年代別	男性	65～69歳 (n=142)	7.7	73.2	17.6	1.4
		70～74歳 (n=169)	7.7	65.7	25.4	1.2
		75～79歳 (n=125)	4.8	68.0	27.2	-
		80～84歳 (n=87)	5.7	57.5	35.6	1.1
		85歳以上 (n=45)	2.2	28.9	66.7	2.2
	女性	65～69歳 (n=201)	10.0	75.6	13.4	1.0
		70～74歳 (n=187)	10.2	71.1	17.1	1.6
		75～79歳 (n=162)	6.2	67.9	24.1	1.9
		80～84歳 (n=122)	3.3	62.3	32.8	1.6
		85歳以上 (n=94)	1.1	42.6	55.3	1.1

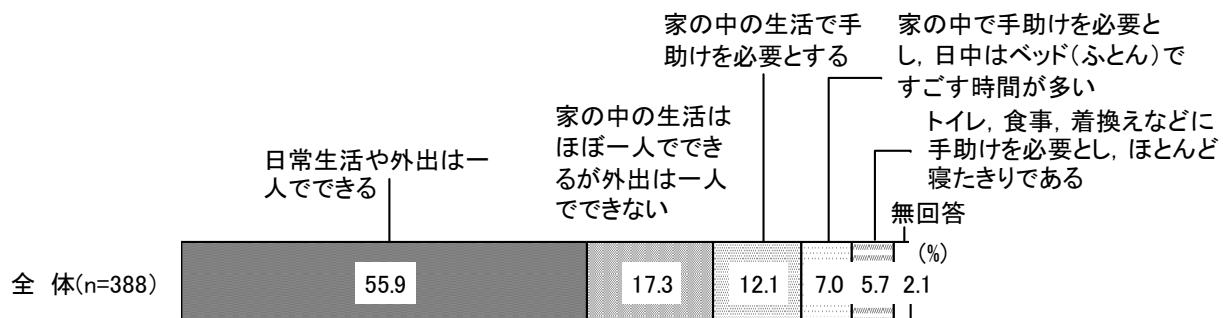
(3) 病気や障害の日常生活への影響（問 14-1）

問 14-1 病気や障害は日常生活にどのような影響がありますか。（1つに○）

問 14 で「病気や障害がある」と回答した人に、病気や障害の日常生活への影響をたずねた。「日常生活や外出は一人でできる（55.9%）」が最も多く、「家の中の生活はほぼ一人でできるが外出は一人でできない（17.3%）」、「家の中の生活で手助けを必要とする（12.1%）」が続いている。

図表 2-19 病気や障害の日常生活への影響（全体）

<病気や障害があると回答した人>

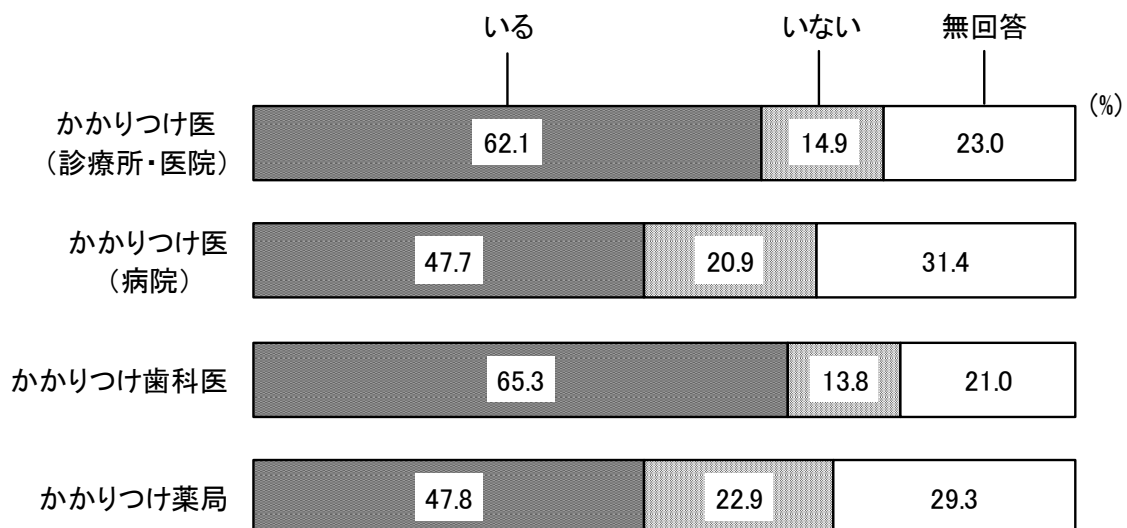


(4) 「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」の有無（問 15）

問 15 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」はいますか。
（それぞれ1つに○）

かかりつけ医（診療所・医院）は「いる（62.1%）」、かかりつけ医（病院）は「いる（47.7%）」、かかりつけ歯科医は「いる（65.3%）」、かかりつけ薬局は「いる（47.8%）」となっている。

図表 2-20 「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」の有無（全体）



(5) 生活のはりあい感・楽しみ感の有無（問16）

問16 あなたは、現在の生活に「はりあい」や「楽しみ」を感じていますか。（1つに○）

生活のはりあい感・楽しみ感の有無は、「とても感じる（26.9%）」と「少し感じる（35.8%）」を合わせると、《感じる》は62.7%である。一方、「あまり感じない（25.6%）」と「感じない（6.4%）」を合わせると、《感じない》は32.0%である。性・年代別にみると、男女とも年代が上がるにつれ「とても感じる」の割合が低くなる傾向が見られ、男性の85歳以上では11.1%、女性の85歳以上では12.8%となっている。

居住地域別では第5地域で「とても感じる（40.4%）」の割合が高くなっている。健康状態別では、大変健康である人で「とても感じる」は68.0%と健康状態が生活のはりあい感・楽しみ感に深く関係している様子が見える。

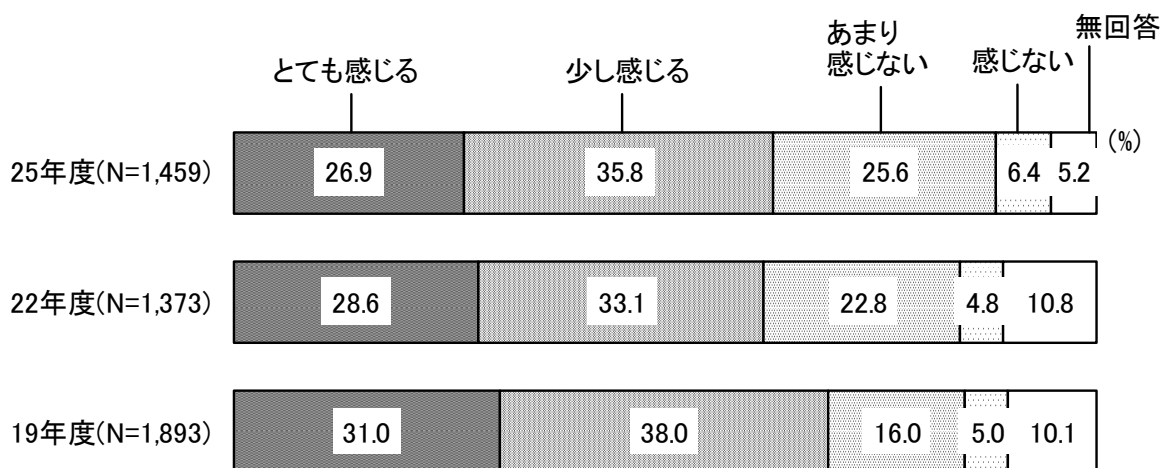
図表 2-21 生活のはりあい感・楽しみ感の有無
（全体、性・年代別、居住地域別、健康状態別）

			とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答	
全 体		(N=1,459)	26.9	35.8	25.6	6.4	5.2	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	28.9	33.1	32.4	3.5	2.1
		70～74歳	(n=169)	23.7	34.3	26.0	8.3	7.7
		75～79歳	(n=125)	25.6	38.4	31.2	3.2	1.6
		80～84歳	(n=87)	24.1	34.5	28.7	6.9	5.7
		85歳以上	(n=45)	11.1	33.3	31.1	17.8	6.7
	女性	65～69歳	(n=201)	24.9	38.3	25.4	5.5	6.0
		70～74歳	(n=187)	33.2	38.5	18.2	4.8	5.3
		75～79歳	(n=162)	34.0	32.7	17.9	8.0	7.4
		80～84歳	(n=122)	32.0	33.6	27.0	3.3	4.1
		85歳以上	(n=94)	12.8	42.6	23.4	14.9	6.4
居住地域別	第1地域	(n=70)	20.0	40.0	20.0	14.3	5.7	
	第2地域	(n=227)	26.4	40.5	20.7	6.2	6.2	
	第3地域	(n=125)	29.6	39.2	19.2	5.6	6.4	
	第4地域	(n=96)	28.1	38.5	29.2	2.1	2.1	
	第5地域	(n=94)	40.4	28.7	21.3	5.3	4.3	
	第6地域	(n=129)	29.5	32.6	31.0	4.7	2.3	
	第7地域	(n=265)	24.9	34.3	28.7	6.4	5.7	
	第8地域	(n=168)	21.4	39.3	28.0	6.5	4.8	
	第9地域	(n=122)	22.1	37.7	31.1	5.7	3.3	
	第10地域	(n=118)	34.7	28.8	22.0	10.2	4.2	
健康状態別	大変健康である	(n=97)	68.0	14.4	10.3	1.0	6.2	
	おおむね健康で普通に生活している	(n=953)	28.0	41.7	23.2	3.0	4.1	
	病気や障害がある	(n=388)	15.5	28.4	36.6	16.0	3.6	

II アンケート調査の結果

現在の生活の「はりあい」や「楽しみ」については、過去2回の調査と同様「少し感じる」が最も多い。「あまり感じない」の割合を見ると、平成19年度は16.0%であったが、平成22年度は22.8%、25年度は25.6%と調査を重ねるごとに高くなっている。

図表 2-22 生活のはりあい感・楽しみ感の有無（全体）【前回比較】



(6) 生活にはりあいや楽しみを感じる時（問 16-1）

問 16-1 「はりあい」や「楽しみ」を感じるのはどのようなときですか。
ご自由にお書きください。

問 16 で、現在の生活にはりあいや楽しみを感じると回答した人に、感じるのはどのようなときかとたずねたところ、趣味（旅行や映画、スポーツ、習い事など）のための外出が多くあげられている。続いて家族や友人、仲間と一緒に食事をしたり外出をしたりといった人と一緒に過ごす時間が多くあがっている。また、仕事やボランティア、孫の世話といった、人のために働いていることをあげる回答も多い。

(7) 今後の就労意向 (問 17)

問 17 あなたは今後、仕事をしたい (続けたい) ですか。(1つに○)

今後の就労意向は、「仕事をする必要がない・したくない (47.2%)」が最も多い。「仕事をしたい (続けたい) (22.0%)」、「仕事をしたいが、仕事がないのでできない (7.9%)」、「仕事をしたいが、からだの具合が悪いのでできない (12.4%)」を合わせると、《就労意向がある》は 42.3%である。

性別では、「仕事をしたい (続けたい)」は男性が 31.2%、女性が 15.1%で、男性の方が女性よりも高い。

性・年代別では男性の 65～69 歳で「仕事をしたい (続けたい)」が 56.3%と他の性・年代に比べ高い割合となっている。

家族構成別では、夫婦のみ (配偶者は 65 歳未満) は「仕事をしたい (続けたい)」が 44.6%で高い就労意向がうかがえる。

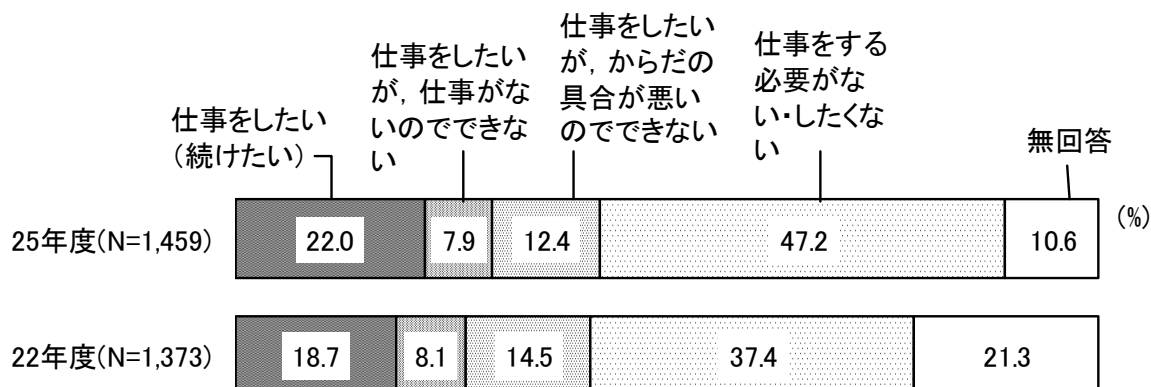
図表 2-23 今後の就労意向 (全体, 性別, 性・年代別, 家族構成別)

			(仕事 続け たい)	いい が の、 仕事 で仕 事を でき ない	で具 が 合、 仕事 がし ない 悪い ので	た要 くが な事 ない す ・る し必	無 回 答	
全 体		(N=1,459)	22.0	7.9	12.4	47.2	10.6	
性別	男性	(n=631)	31.2	9.8	12.5	40.3	6.2	
	女性	(n=801)	15.1	6.4	12.5	52.8	13.2	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	56.3	12.0	7.7	19.7	4.2
		70～74歳	(n=169)	30.8	10.7	11.8	40.2	6.5
		75～79歳	(n=125)	24.0	10.4	14.4	47.2	4.0
		80～84歳	(n=87)	13.8	10.3	14.9	50.6	10.3
		85歳以上	(n=45)	4.4	2.2	15.6	71.1	6.7
	女性	65～69歳	(n=201)	24.9	11.9	10.0	46.3	7.0
		70～74歳	(n=187)	20.9	6.4	12.8	46.5	13.4
		75～79歳	(n=162)	11.7	6.2	14.8	50.6	16.7
		80～84歳	(n=122)	5.7	3.3	14.8	57.4	18.9
		85歳以上	(n=94)	1.1	0.0	9.6	76.6	12.8
家族構成別	ひとり暮らし	(n=296)	17.9	7.1	16.9	43.9	14.2	
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	(n=571)	21.2	8.6	11.9	48.7	9.6	
	夫婦のみ (配偶者は65歳未満)	(n=65)	44.6	7.7	7.7	29.2	10.8	
	上記構成以外で世帯全員が65歳以上	(n=33)	24.2	9.1	24.2	33.3	9.1	
	その他	(n=458)	22.9	7.6	10.3	51.3	7.9	

II アンケート調査の結果

前回調査と比べると、「仕事をしたい（続けたい）」の割合は22年度は18.7%、25年度は22.0%と3.3ポイント高くなっている。

図表 2-24 今後の就労意向（全体）【前回比較】



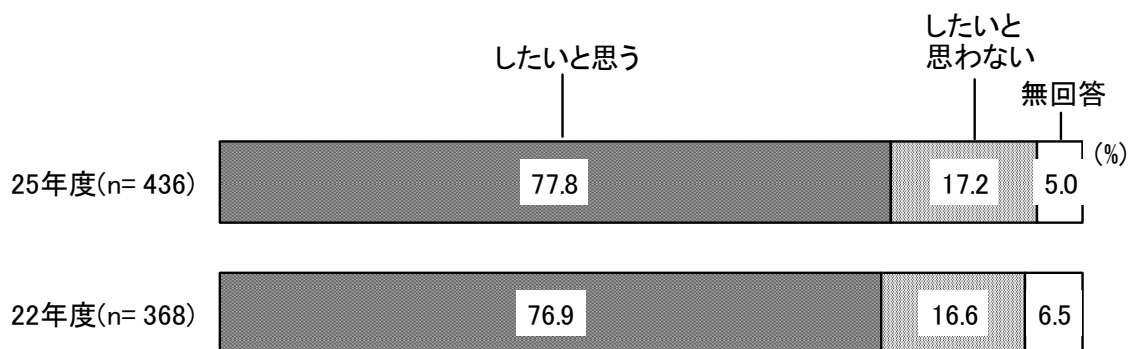
(8) 地域に貢献できる仕事への意向（問 17-1）

問 17-1 問 17 で 1 と 2（仕事をしたい（続けたい）・仕事をしたいが、仕事がないのでできない）と答えた方におたずねします。あなたは、自分の知識や技能を活かしながら、地域に貢献できる仕事をしたいと思いますか。（1つに○）

「仕事をしたい（続けたい）」、「仕事をしたいが、仕事がないのでできない」の回答者に、地域に貢献できる仕事について聞いたところ、「したいと思う」が77.8%であった。

前回調査と比べると、22年度、25年度とも「したいと思う」が「したいと思わない」を大きく上回っている。

図表 2-25 地域に貢献できる仕事への意向（全体）【前回比較】



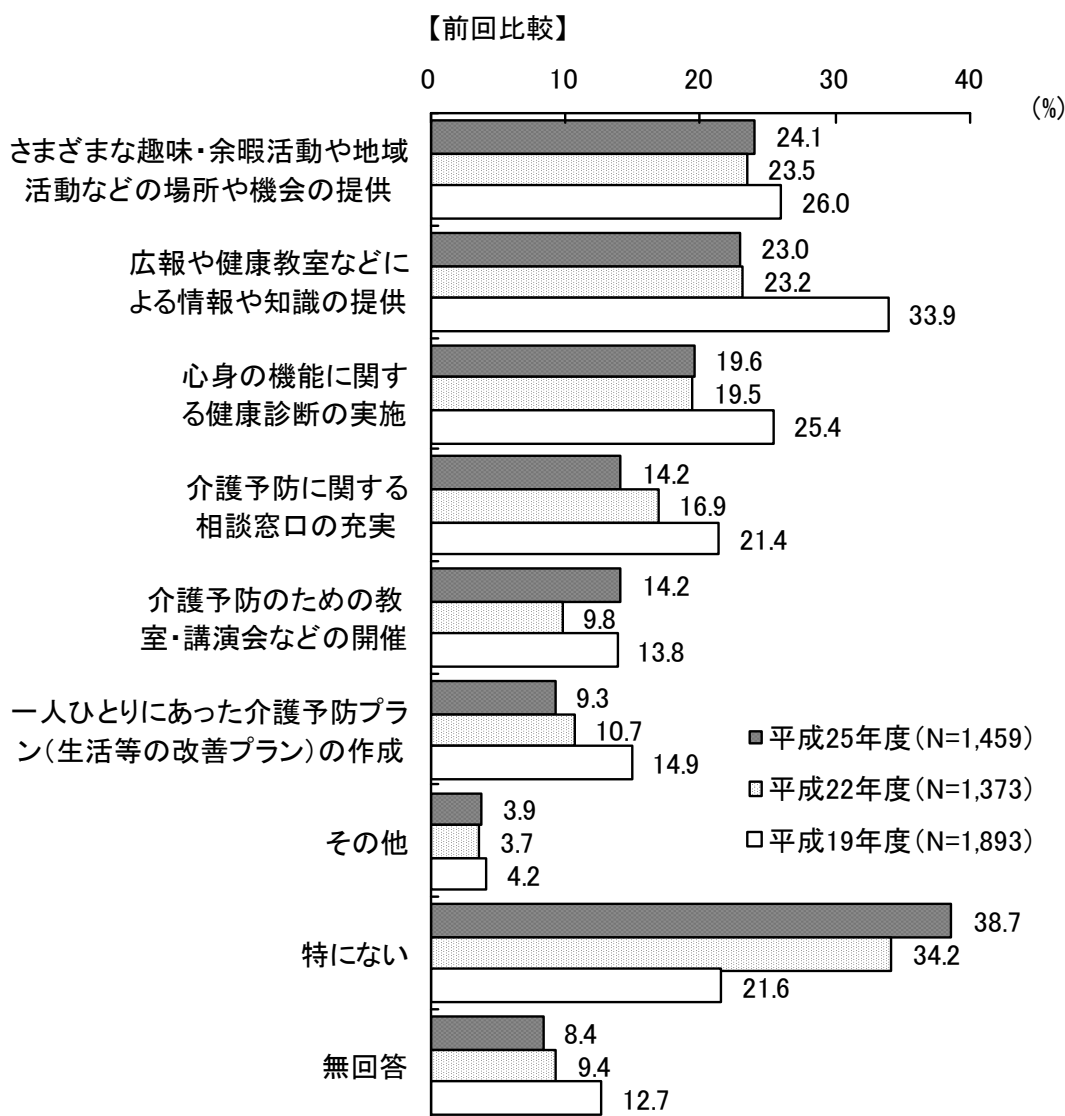
(9) 健康な生活のために支援して欲しいこと（問18）

問 8 あなたは、健康や体調を維持するために、市役所から支援して欲しいと思うことはありますか。（いくつでも○）

健康や体調維持のために市役所に支援してほしいことは、「さまざまな趣味・余暇活動や地域活動などの場所や機会の提供（24.1%）」、「広報や健康教室などによる情報や知識の提供（23.0%）」などとなっている。一方、「特にない」は38.7%となっている。

前回調査と比べると、19年度は「広報や健康教室などによる情報や知識の提供」、「心身の機能に関する健康診断の実施」が上位であったが、22年度、25年度は「さまざまな趣味・余暇活動や地域活動などの場所や機会の提供」が「広報や健康教室などによる情報や知識の提供」を上回り、最も多い回答である。また、「特にない」の割合を見ると、19年度は21.6%であったが、25年度は38.7%と17.1ポイント高くなっている。

図表 2-26 健康な生活のために支援して欲しいこと（全体）



5 外出についての不安や課題

(1) 買物や通院などの生活に必要な外出（問 19（1））

問 19 あなたは、買い物や通院などの生活に必要な外出や、余暇や仕事などのために必要な外出は、どれくらいしていますか。

（1）買物や通院などの生活に必要な外出（1つに○）

外出状況について、買い物や通院などの生活に必要な外出は、「ほぼ毎日（40.7%）」が最も多く、「週3～4日程度（26.9%）」、「週1～2日程度（16.0%）」が続いている。「1か月に1～3回」は13.0%、「ほとんどしない」は4.4%である。

健康状態別にみると、大変健康である人は「ほぼ毎日（66.0%）」が他の健康状態に比べ高い割合となっている。

生活のはりあい感別にみると、はりあいを感じる人は「ほぼ毎日（45.2%）」がはりあいを感じない人に比べ高い割合となっている。

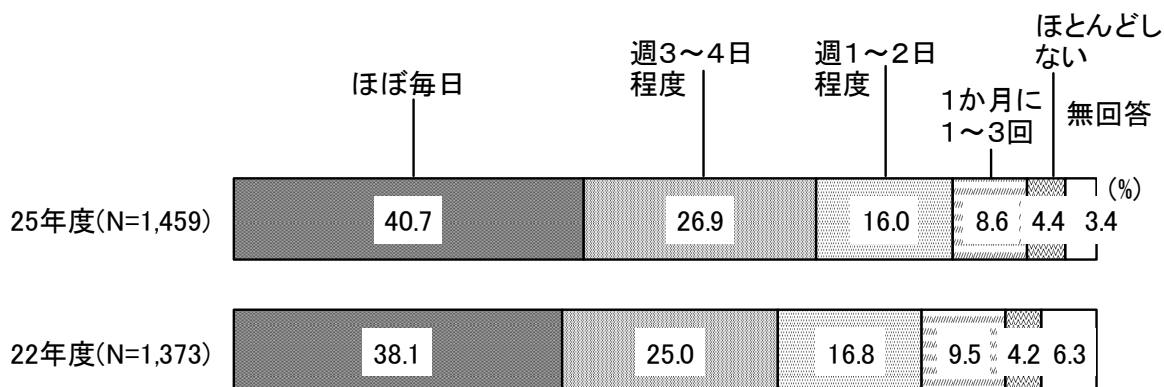
近所づきあい別にみると、親しく近所づきあいをしている人は「ほぼ毎日（51.0%）」が他の近所づきあいの状況に比べ高い割合となっている。

図表 2-27 買物や通院などの生活に必要な外出
（全体、健康状態別、生活のはりあい感別、近所づきあい別）

		ほぼ毎日	週3～4日程度	週1～2日程度	1か月に1～3回	ほとんどしない	無回答
全 体 (N=1,459)		40.7	26.9	16.0	8.6	4.4	3.4
感あは別いり	感じる (n=916)	45.2	27.1	15.6	7.6	1.7	2.7
	感じない (n=467)	32.5	27.2	17.6	10.5	9.6	2.6
近所づきあい別	親しく近所づきあいをしている (n=198)	51.0	24.2	13.1	6.6	2.0	3.0
	立ち話をする程度のつきあいをしている (n=595)	42.7	30.1	16.0	6.7	1.5	3.0
	あいさつする程度のつきあいをしている (n=491)	36.7	29.1	17.5	10.8	3.9	2.0
	近所づきあいをしていない (n=148)	38.5	10.8	15.5	10.8	20.3	4.1

22年度と比べると、買い物や通院などの生活に必要な外出は「ほぼ毎日」、「週3～4日程度」ともわずかではあるが増加している。

図表 2-28 買物や通院などの生活に必要な外出（全体）【前回比較】



(2) 余暇や仕事などのために必要な外出（問19（2））

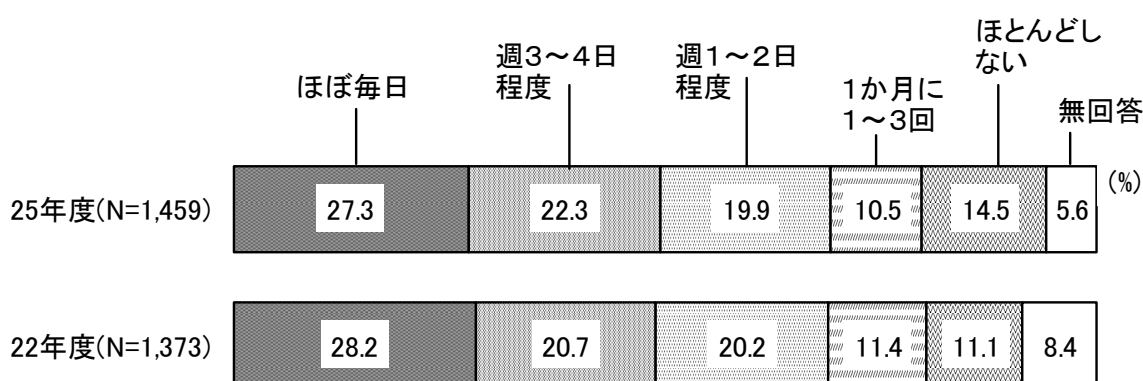
問19 あなたは、買い物や通院などの生活に必要な外出や、余暇や仕事などのために必要な外出は、どれくらいしていますか。

（2）余暇や仕事などのために必要な外出（1つに○）

余暇や仕事などのために必要な外出は、「ほぼ毎日（27.3%）」が最も多く、「週3～4日程度（22.3%）」、「週1～2日程度（19.9%）」が続いている。「1か月に1～3回」は10.5%、「ほとんどしない」は14.5%である。

22年度と比べると、ほぼ同様の傾向であるが「ほとんどしない」の割合が11.1%から14.5%となっている。

図表 2-29 余暇や仕事などのために必要な外出（全体）【前回比較】



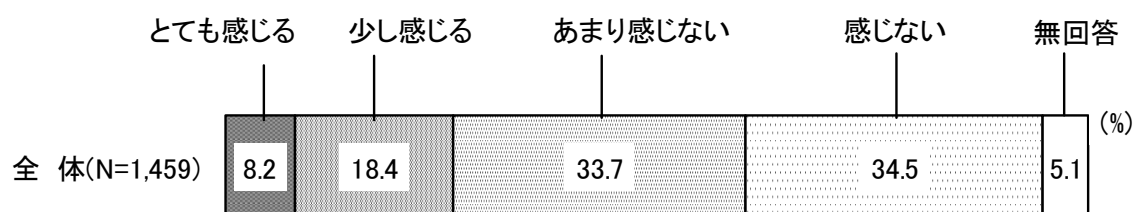
(3) 外出や移動についての不安や問題の有無（問20）

問20 あなたは、外出や移動について不安や問題を感じていますか。（1つに○）

外出や移動についての不安や問題は、「感じない（34.5%）」が最も多く、「あまり感じない（33.7%）」と合わせると《感じない》は68.2%となっている。

「とても感じる（8.2%）」、「少し感じる（18.4%）」を合わせると《不安や問題を感じている》は26.6%である。

図表 2-30 外出や移動についての不安や問題の有無（全体）

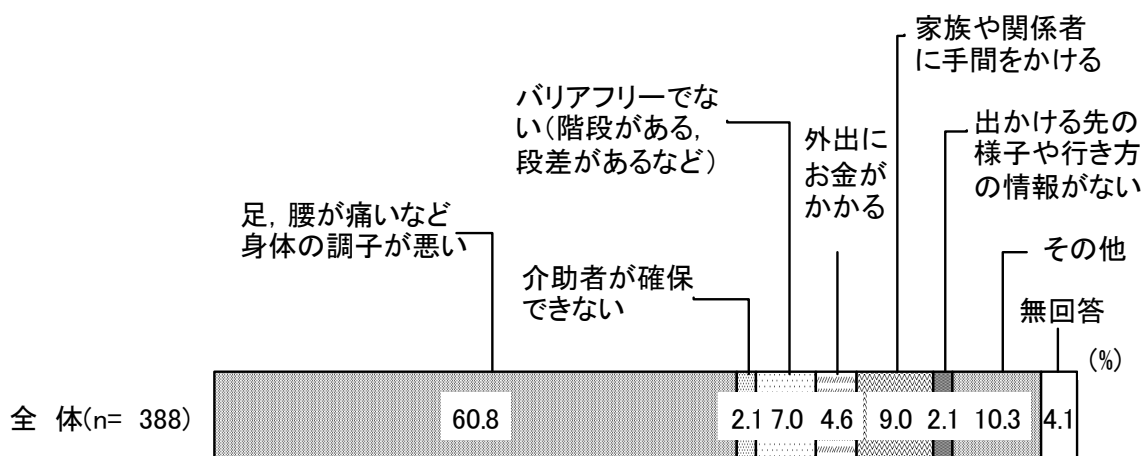


(4) 外出や移動についての不安や問題（問 20-1）

問 20-1 問 20 で 1 と 2（とても感じる・少し感じる）と答えた方におたずねします。外出に
 関しての不安や問題は、主にどのようなことですか。（1つに〇）

具体的な不安や問題としては、「足、腰が痛いなど身体の調子が悪い（60.8%）」が最も多く、「家族や関係者に手間をかける（9.0%）」、「バリアフリーでない（階段がある、段差があるなど）（7.0%）」が続いている。

図表 2-31 外出や移動についての不安や問題（全体）

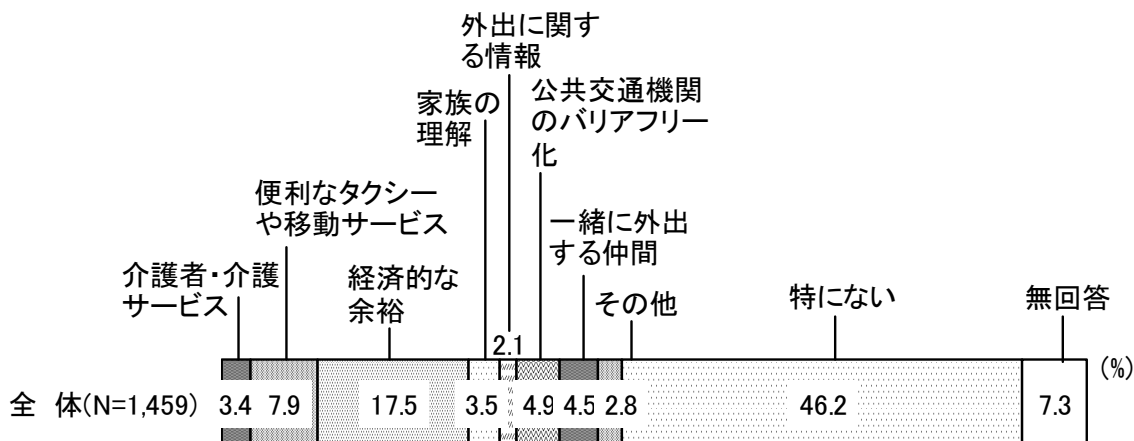


(5) もっと外出するために必要なもの（問 21）

問 20-1 あなたが、もっと外出するために必要なものはどのようなことですか。（1つに〇）

外出を増やすために必要なものは、「経済的な余裕（17.5%）」が最も多く、「便利なタクシーや移動サービス（7.9%）」が続いている。「特にない」は46.2%となっている。

図表 2-32 もっと外出するために必要なもの（全体）



6 介護の状況や介護保険

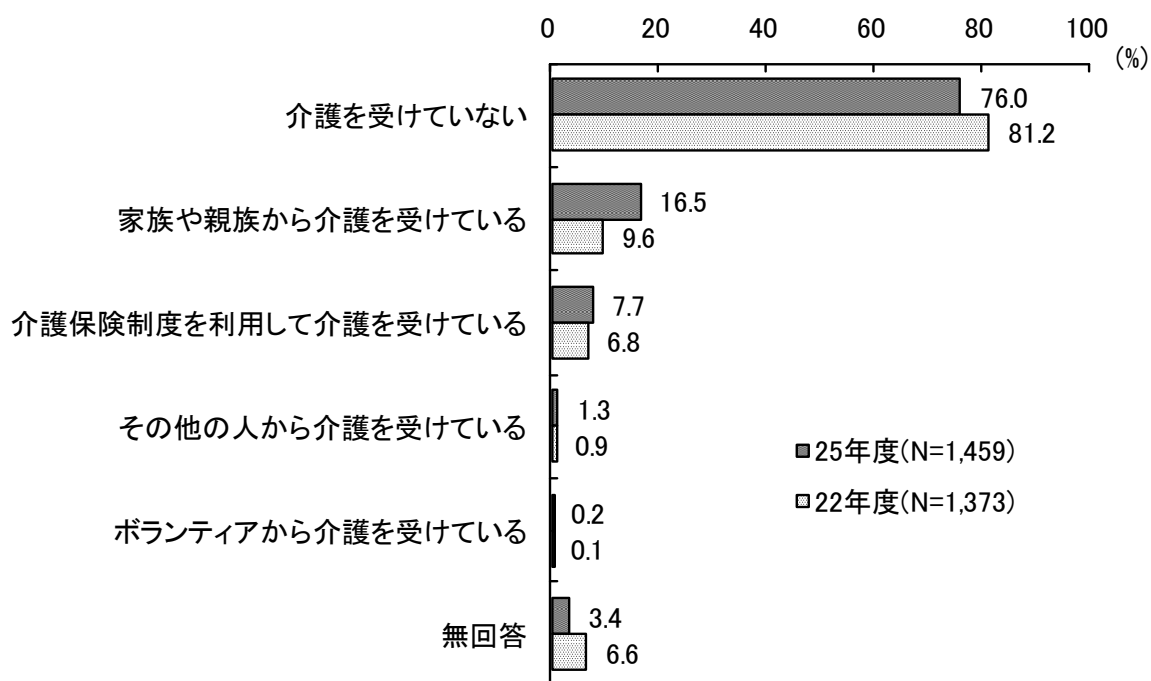
(1) 介護の状況（問22）

問22 あなたは現在、介護を受けていますか。（いくつでも○）

介護の状況は、「介護を受けていない」が76.0%であり、「家族や親族から介護を受けている」が16.5%、「介護保険制度を利用して介護を受けている」が7.7%である。

前回調査と比べると「介護を受けていない」の割合は22年度は81.2%、25年度は76.0%と割合が低くなっている。

図表 2-33 介護の状況（全体）【前回比較】



(2) 主な介護者（問 22-1）

問 22-1 問 22 で 1（家族や親族から介護を受けている）と答えた方におたずねします。
 主な介護者はどなたですか。（1つに○）

「家族や親族から介護を受けている」と回答した人に、主な介護者をたずねたところ、「配偶者（43.6%）」が最も多く、「娘（26.6%）」、「息子（12.9%）」が続いている。

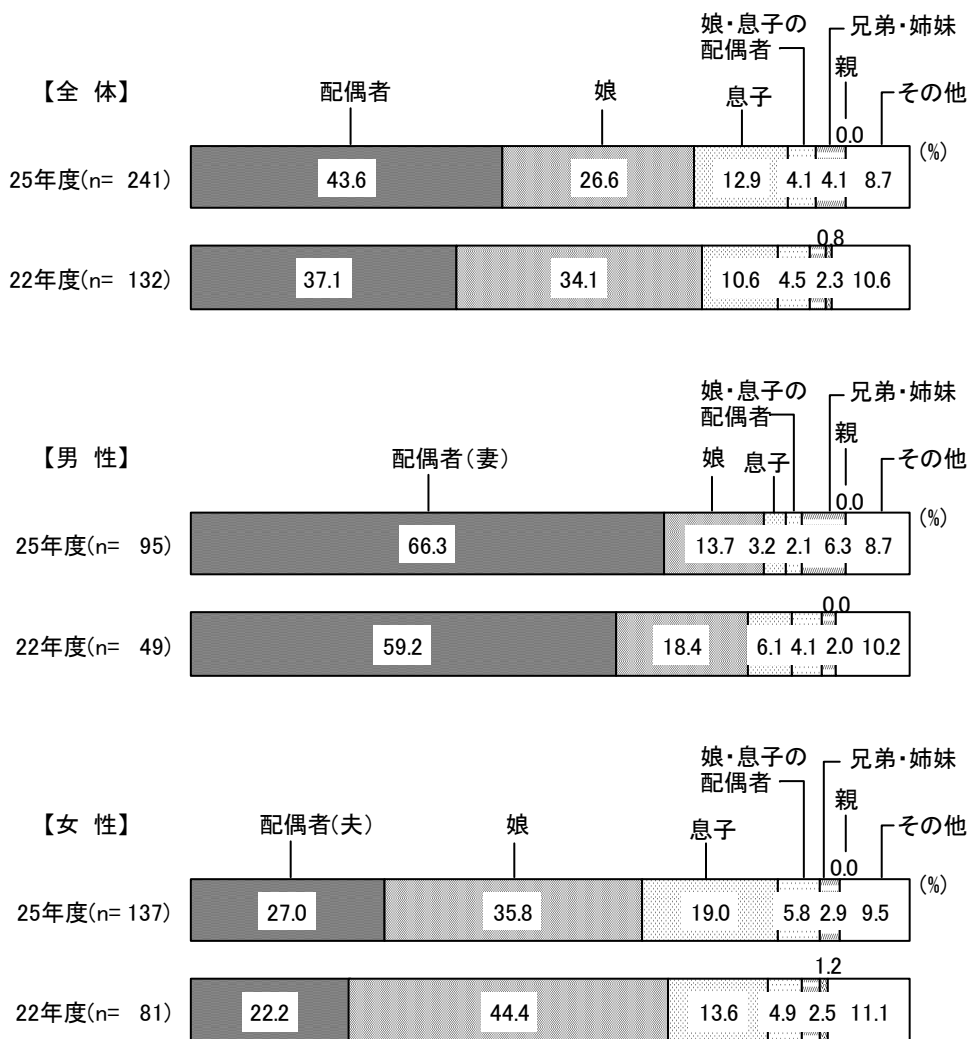
前回調査と比べると、「配偶者」との回答が、22年度は37.1%、25年度は43.6%と、6.5ポイント高くなっている。

性別にみると、男性では「配偶者」が66.3%であり、女性では「配偶者」が27.0%である。

性別について前回調査と比べると、「配偶者」との回答が、男性では、22年度は59.2%、25年度は66.3%で、7.1ポイント低くなっている。女性では、22年度は22.2%、25年度は27.0%で4.8ポイント高くなっている。

図表 2-34 主な介護者（全体、性別）【前回比較】

<家族や親族から介護を受けている人>



(3) 介護が必要になったときに生活したい場所（問 23）

問 23 あなたは、介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。（1つに○）

介護が必要になったとき生活したい場所は、「自宅で在宅サービス（通い・訪問を含む）を受けながら生活したい（29.1%）」が最も多く、「自宅で家族などの介護を受けながら生活したい（22.3%）」、「自宅で生活したいが、人の世話になりたくない（14.3%）」が続いている。

性・年代別にみると、男性の80～84歳と85歳以上で「自宅で家族などの介護を受けながら生活したい」の割合が、他の性・年代と比べ高くなっている。

図表 2-35 介護が必要になったときに生活したい場所（全体、性・年代別）

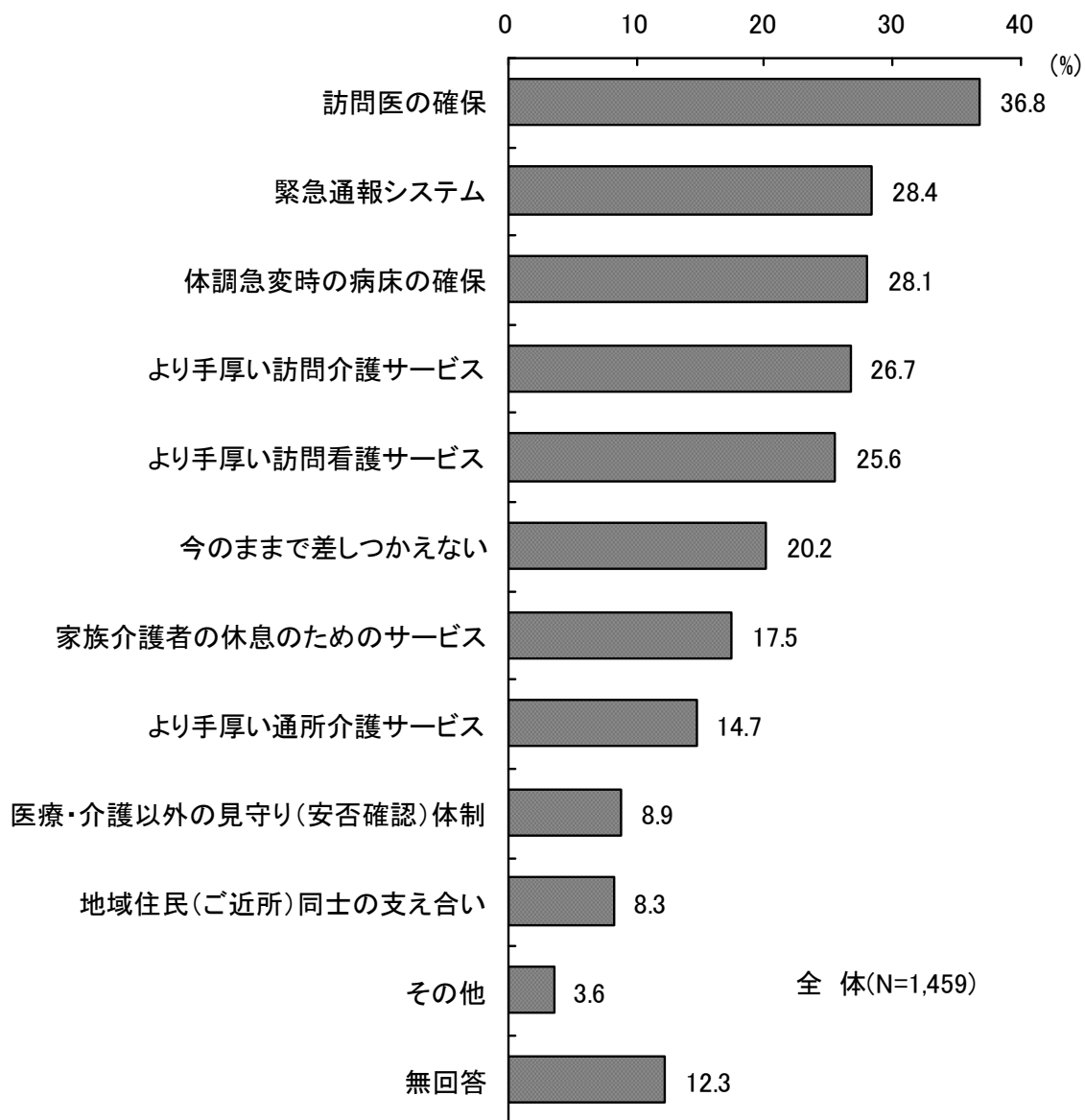
			ない が、自 宅で 訪問 を 含 む ） を 受 け 通	自 宅 で 家 族 な ど の 介 護 を	に 料 特 別 入 所 し た い ム な ホ ム の 施 有	そ の 他	の 自 宅 で 生 活 し た い が 、 人	分 か ら な い	無 回 答	
全 体		(N=1,459)	29.1	22.3	13.8	1.2	14.3	16.2	3.2	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	21.8	21.1	15.5	0.0	17.6	22.5	1.4
		70～74歳	(n=169)	28.4	28.4	13.0	0.6	14.2	13.6	1.8
		75～79歳	(n=125)	28.0	29.6	16.0	1.6	12.0	11.2	1.6
		80～84歳	(n=87)	31.0	32.2	13.8	1.1	9.2	8.0	4.6
	85歳以上	(n=45)	11.1	44.4	13.3	0.0	13.3	13.3	4.4	
	女性	65～69歳	(n=201)	37.3	10.0	20.9	1.5	12.4	14.9	3.0
		70～74歳	(n=187)	32.6	16.0	9.6	1.1	15.0	23.0	2.7
		75～79歳	(n=162)	35.2	16.7	10.5	0.6	15.4	18.5	3.1
80～84歳		(n=122)	27.9	21.3	18.9	0.0	16.4	12.3	3.3	
85歳以上	(n=94)	22.3	28.7	11.7	5.3	11.7	14.9	5.3		

(4) 家庭で自宅療養を続けるために必要なこと（問 24）

問 24 あなたのご家庭で自宅療養を続けるには、何が必要ですか。（いくつでも○）

自宅療養を続けるために必要なことをたずねたところ、「訪問医の確保（36.8%）」が最も多く、「緊急通報システム（28.4%）」、「体調急変時の病床の確保（28.1%）」が続いている。

図表 2-36 家庭で自宅療養を続けるために必要なこと（全体：複数回答）



7 近所づきあいの状況

(1) 近所づきあいの状況 (問 25)

問 25 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

近所づきあいの状況は、「立ち話をする程度のつきあいをしている (40.8%)」が最も多く、「あいさつをする程度のつきあいをしている (33.7%)」、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている (13.6%)」が続いている。なお、「近所づきあいをしていない」は10.1%である。

性・年代別にみると、男女とも85歳以上で「近所づきあいをしていない」が他の性年代に比べ高い割合となっている。

居住地域別では、第1地域で「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」が20.0%と他の地域に比べ高い割合となっている。

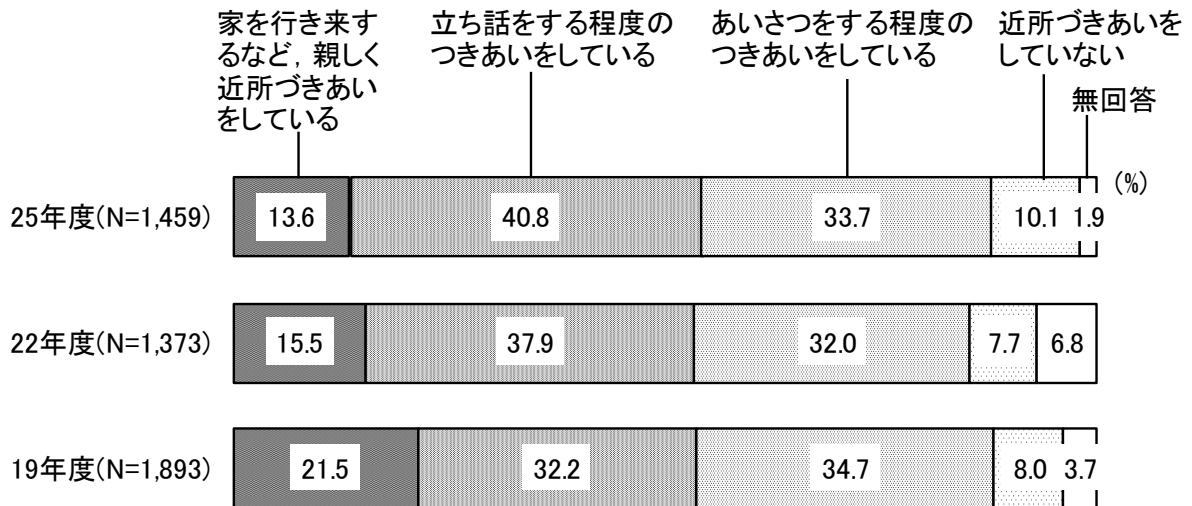
図表 2-37 近所づきあいの状況 (全体, 性・年代別, 居住地域別)

			あど家 い、を を親行 ししき てく来 い近す る所づ づな き	つ立 きち あ話 いをす る程 度い るの	るのあ つ つき あつ いをす る程 度い	いな近 所づ きあ いをし て	無 回 答	
全 体		(N=1,459)	13.6	40.8	33.7	10.1	1.9	
性・ 年代別	男性	65～69歳	(n=142)	7.7	31.7	45.8	12.7	2.1
		70～74歳	(n=169)	8.9	40.2	40.8	9.5	0.6
		75～79歳	(n=125)	8.0	43.2	38.4	9.6	0.8
		80～84歳	(n=87)	10.3	41.4	41.4	4.6	2.3
		85歳以上	(n=45)	4.4	20.0	44.4	26.7	4.4
	女性	65～69歳	(n=201)	10.9	45.8	35.8	7.0	0.5
		70～74歳	(n=187)	23.0	39.6	28.9	7.5	1.1
		75～79歳	(n=162)	21.0	50.6	20.4	6.2	1.9
		80～84歳	(n=122)	22.1	41.8	27.9	4.9	3.3
		85歳以上	(n=94)	14.9	35.1	21.3	25.5	3.2
居住 地域別	第1地域	(n=70)	20.0	40.0	34.3	4.3	1.4	
	第2地域	(n=227)	13.7	42.3	32.6	10.1	1.3	
	第3地域	(n=125)	13.6	41.6	26.4	16.0	2.4	
	第4地域	(n=96)	13.5	46.9	31.3	8.3	0.0	
	第5地域	(n=94)	17.0	47.9	31.9	3.2	0.0	
	第6地域	(n=129)	11.6	40.3	37.2	10.1	0.8	
	第7地域	(n=265)	13.6	37.4	36.6	9.1	3.4	
	第8地域	(n=168)	8.9	39.9	36.9	14.3	0.0	
	第9地域	(n=122)	11.5	32.8	40.2	13.1	2.5	
	第10地域	(n=118)	16.1	47.5	25.4	9.3	1.7	

II アンケート調査の結果

前回調査と比べ、「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」の割合が19年度では21.5%であるが、22年度15.5%、25年度13.6%と調査を重ねるごとにその割合が低くなっている。

図表 2-38 近所づきあいの状況（全体）【前回比較】



(2) 近所づきあいをしていない理由（問 25-1）

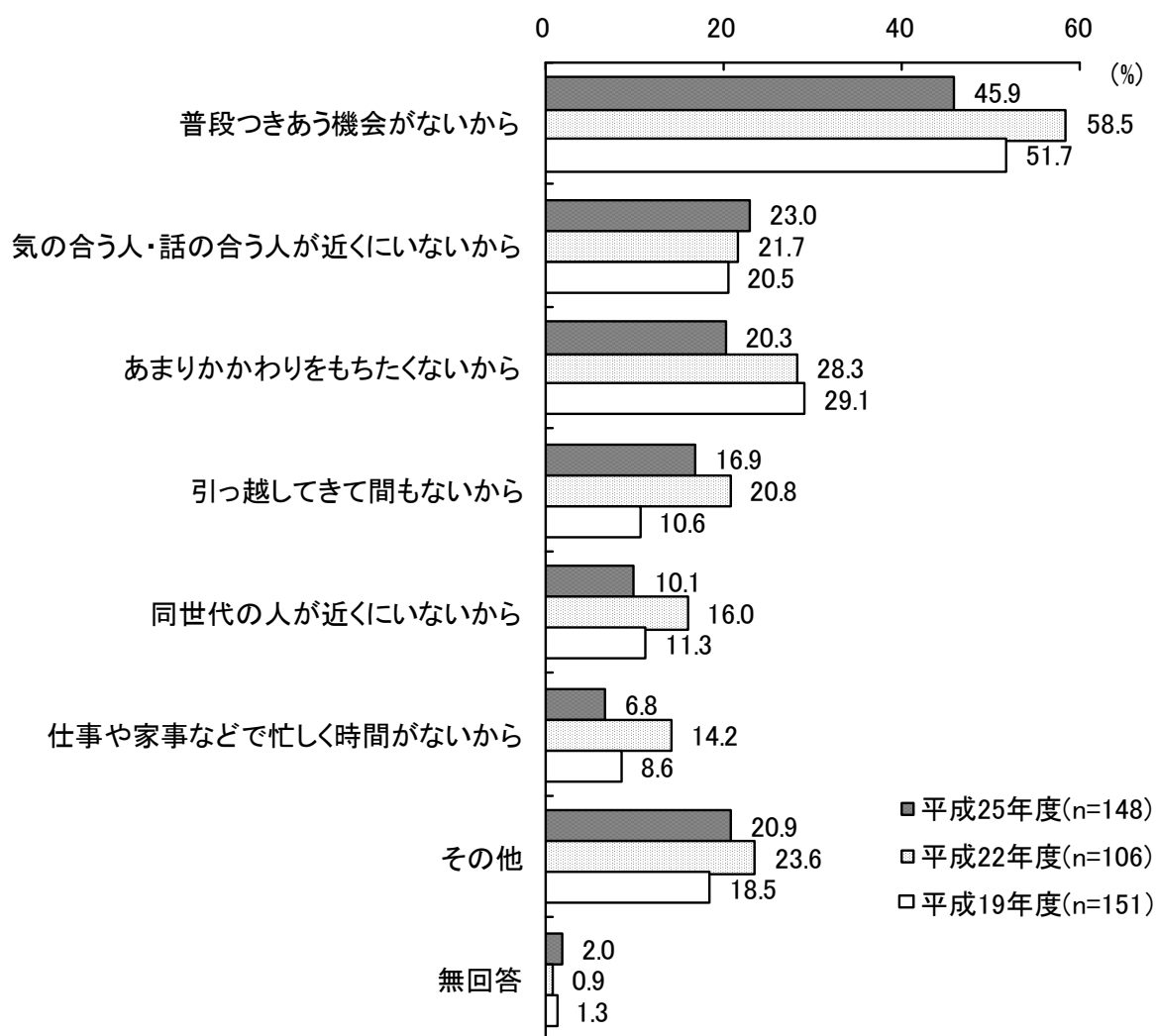
問 25-1 問 25 で4（近所づきあいをしていない）と答えた方におたずねします。近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。（いくつでも〇）

近所づきあいをしていない理由については、「普段つきあう機会がないから（45.9%）」が最も多く、「気の合う人・話の合う人が近くにいないから（23.0%）」、「あまりかかわりをもたたくないから（20.3%）」、「引っ越してきて間もないから（16.9%）」が続いている。

前回調査と比べると、19年以降3回とも「普段つきあう機会がないから」が最も多くあげられている。19年度、22年度は2位に「あまりかかわりをもたたくないから」があげられているが、25年度には、「気の合う人・話の合う人が近くにいないから」が2位となっている。

図表 2-39 主な近所づきあいをしていない理由（全体）【前回比較】

<近所づきあいをしていない人>



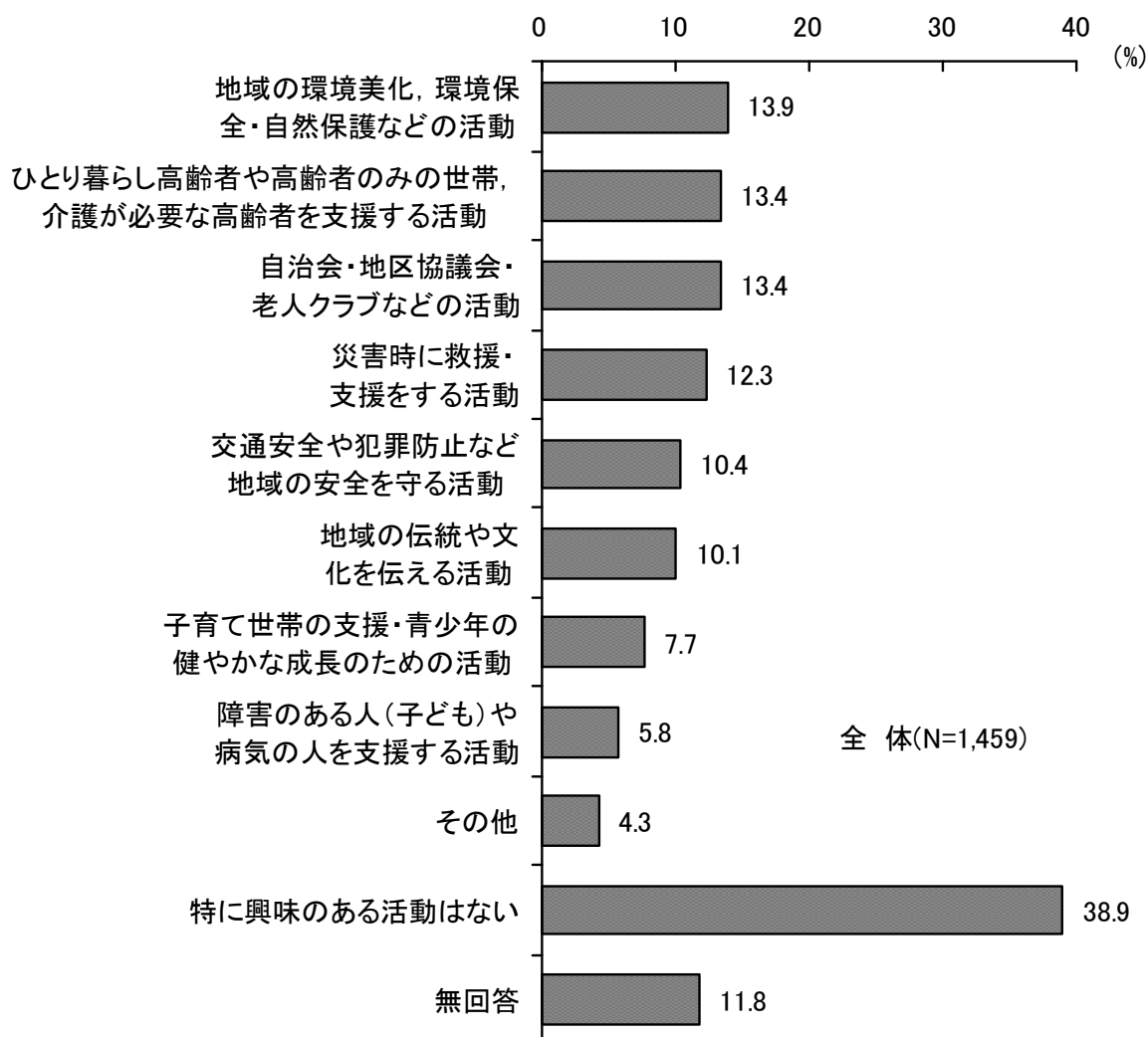
8 地域福祉活動の取組状況

(1) 興味のある地域活動・ボランティア活動（問 26）

問 26 次のような地域活動・ボランティア活動等について、あなたが興味のある活動はありますか。（いくつでも○）

興味ある地域活動・ボランティア活動は、「地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動（13.9%）」が最も多く、「ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯，介護が必要な高齢者を支援する活動（13.4%）」、「自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（13.4%）」、「災害時に救援・支援をする活動（12.3%）」が続いている。なお，約4割が「特に興味のある活動はない（38.9%）」と回答している。

図表 2-40 興味のある地域活動・ボランティア活動（全体：複数回答）



(2) 地域活動・ボランティア活動への取組状況（問27）

問27 あなたは、実際に問26のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいますか。（1つに○）

地域活動・ボランティア活動への取組状況は、「現在、継続的に取り組んでいる」が9.4%、「たまに、取り組むことがある」が3.6%、「以前取り組んだことがあるが、現在はほとんどしていない」が13.9%である。なお、「取り組んだことはない」は62.3%となっている。

性・年代別では女性の75～79歳で「以前取り組んだことがあるが、現在はほとんどしていない」が23.5%で他の性・年代より高い割合となっている。

健康状態別では、大変健康である方で「現在、継続的に取り組んでいる」が16.5%で他の健康状態に比べ高い割合である。

生活のはりあい感別では、感じない人は「取り組んだことはない」が73.9%と感じる人より17.0ポイント上回っている。

近所づきあい別ではあいさつをする程度のつきあいをしていると近所づきあいをしていないでは「取り組んだことはない」が7割を超えている。

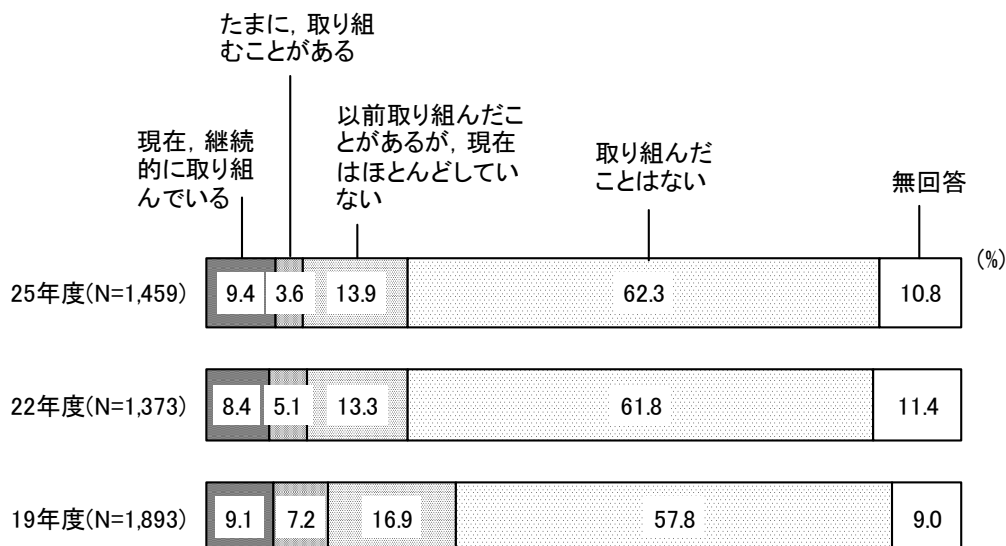
地域のつながり感別においても、地域のつながりを感じない人は「取り組んだことはない」が73.2%と、近所づきあいや地域のつながり感と、地域活動・ボランティア活動への取組状況が関係している様子がうかがえる。

図表2-41 地域活動・ボランティア活動への取組状況
 （全体、性・年代別、健康状態別、生活のはりあい感別、近所づきあい別、地域のつながり感別）

		組現在、い継続的に取り	とたまに、取り組むこ	とが前どるし、現なこほ	いり組んだことはな	無回答	
全 体 (N=1,459)		9.4	3.6	13.9	62.3	10.8	
性・年代別	男性	65～69歳 (n=142)	10.6	3.5	9.9	70.4	5.6
		70～74歳 (n=169)	14.8	4.1	11.8	59.8	9.5
		75～79歳 (n=125)	13.6	4.0	12.0	62.4	8.0
		80～84歳 (n=87)	8.0	3.4	17.2	60.9	10.3
		85歳以上 (n=45)	4.4	2.2	6.7	64.4	22.2
	女性	65～69歳 (n=201)	7.0	3.5	9.0	72.6	8.0
		70～74歳 (n=187)	11.8	5.9	16.0	60.4	5.9
		75～79歳 (n=162)	6.8	3.1	23.5	51.9	14.8
80～84歳 (n=122)		5.7	3.3	16.4	59.0	15.6	
	85歳以上 (n=94)	4.3	1.1	20.2	59.6	14.9	
健康状態別	大変健康である (n=97)	16.5	5.2	10.3	57.7	10.3	
	おおむね健康で普通に生活している (n=953)	9.8	3.6	15.3	61.9	9.4	
	病気や障害がある (n=388)	7.0	3.6	12.1	64.4	12.9	
生活のはりあい感別	感じる (n=916)	12.7	4.1	16.7	56.9	9.6	
	感じない (n=467)	3.4	2.6	10.1	73.9	10.1	
近所づきあい別	親しく近所づきあいをしている (n=198)	16.2	6.6	16.2	43.4	17.7	
	立ち話をする程度のつきあいをしている (n=595)	11.9	3.9	16.5	58.3	9.4	
	あいさつする程度のつきあいをしている (n=491)	6.5	2.9	12.0	71.7	6.9	
	近所づきあいをしていない (n=148)	1.4	2.0	8.1	78.4	10.1	
感じ別	感じる (n=638)	13.6	5.0	16.8	57.4	7.2	
	感じない (n=725)	6.5	2.9	12.8	73.2	4.6	

前回調査と比べると、19年度から25年度まで「取り組んだことはない」が最も多く、調査を重ねるごとにその割合は高くなっている。

図表 2-42 地域活動・ボランティア活動への取組状況（全体）【前回比較】

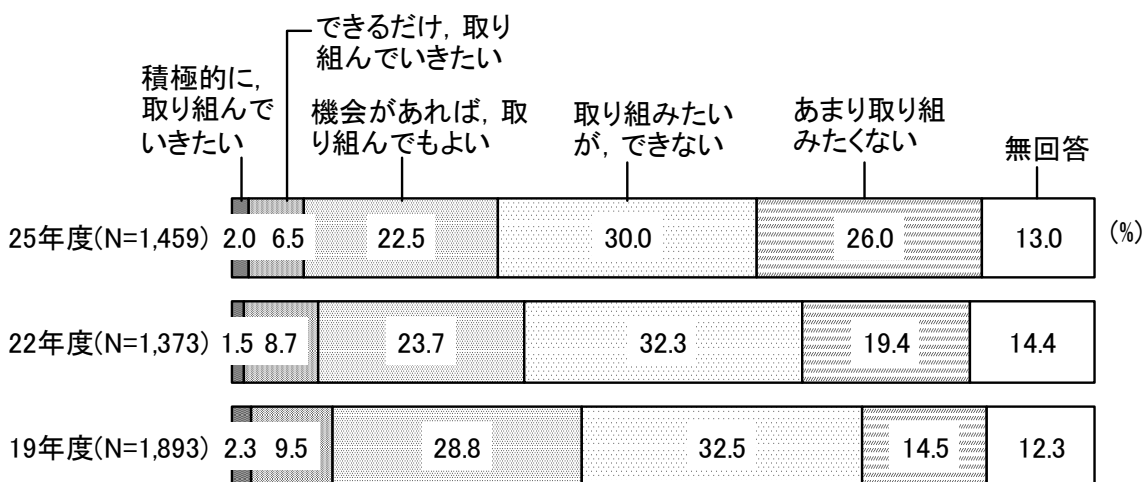


(3) 地域活動・ボランティア活動への取組意向（問 28）

問 28 あなたは、今後、問 26 のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。（1つに○）

地域活動・ボランティア活動への取組意向は、「積極的に、取り組んでいきたい（2.0%）」、「できるだけ、取り組んでいきたい（6.5%）」、「機会があれば、取り組んでもよい（22.5%）」を合わせると、《取組意向がある》は31.0%となっている。前回調査と比べると、調査を重ねるごとに《取組意向がある》割合が低くなっている。

図表 2-43 地域活動・ボランティア活動への取組意向（全体）【前回比較】



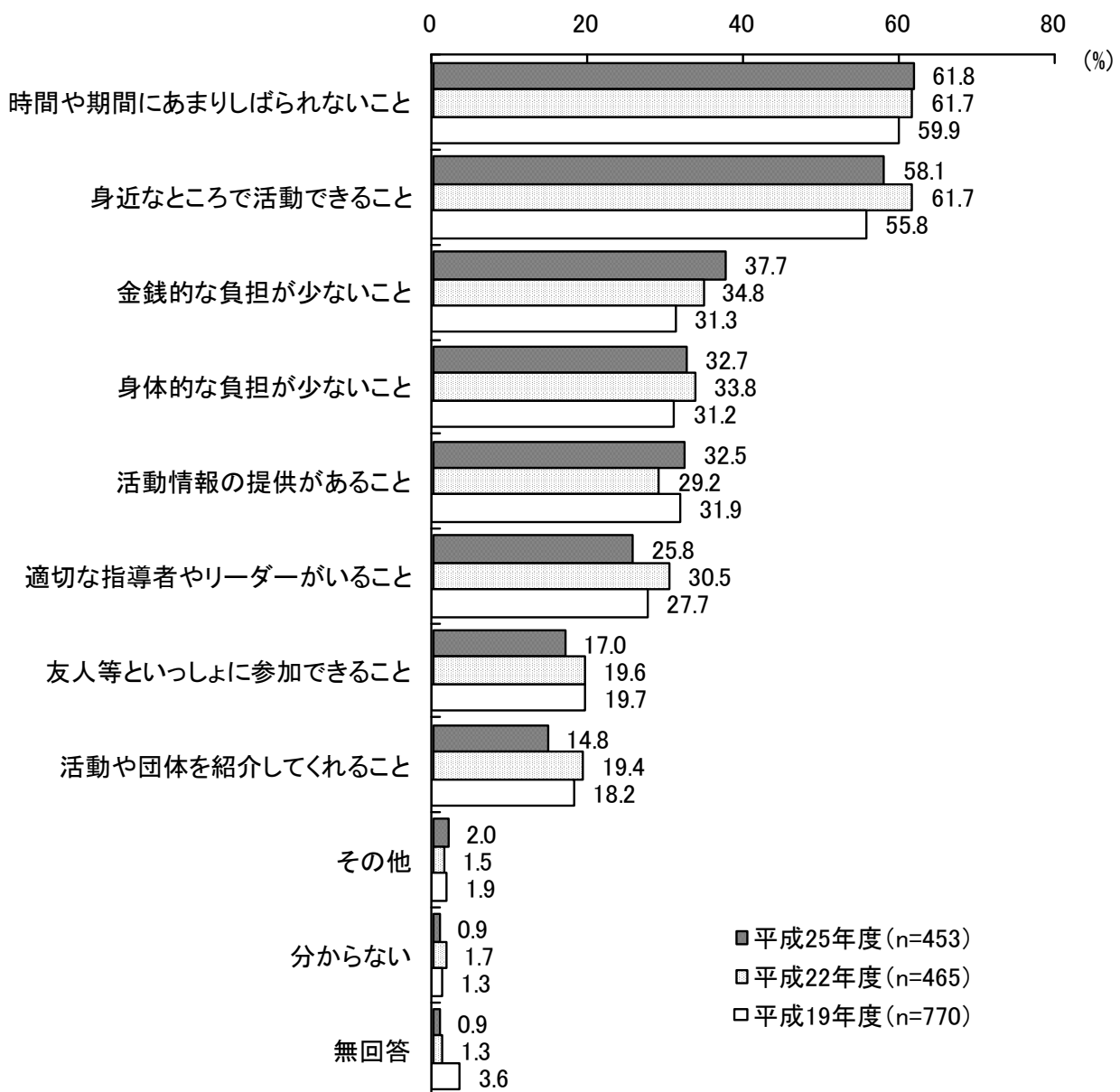
(4) 地域活動・ボランティア活動へ参加・活動しやすい条件（問28-1）

問28-1 問28で1～3（「積極的に、取り組んでいきたい」、「できるだけ、取り組んでいきたい」、「機会があれば、取り組んでもよい」と答えた方）におたずねします。どのような条件であれば、参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも○）

地域活動・ボランティア活動への《取組意向がある》人に、参加・活動しやすい条件をたずねた。「時間や期間にあまりしぼられないこと（61.8%）」が最も多く、「身近なところで活動できること（58.1%）」が続いている。

前回調査と比べ、19年度以降3回とも「時間や期間にあまりしぼられないこと」、「身近なところで活動できること」の2項目の割合が高く、次いで「金銭的な負担が少ないこと」が3位にあげられている。

図表2-44 地域活動・ボランティア活動へ参加・活動しやすい条件
（全体：複数回答）【前回比較】＜《取組意向がある》人＞



9 住民参加の地域づくり

(1) 地域のつながりの必要性 (問 29)

問 29 あなたは暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）は必要だと思いますか。（1つに○）

地域のつながりの必要性は、「とても必要だと思う（32.7%）」と「どちらかといえば、必要だと思う（51.8%）」を合わせると、84.5%が《必要だと思う》と考えている。

居住地域別では、第6地域で「とても必要だと思う」が25.6%で他の地域に比べて低い。

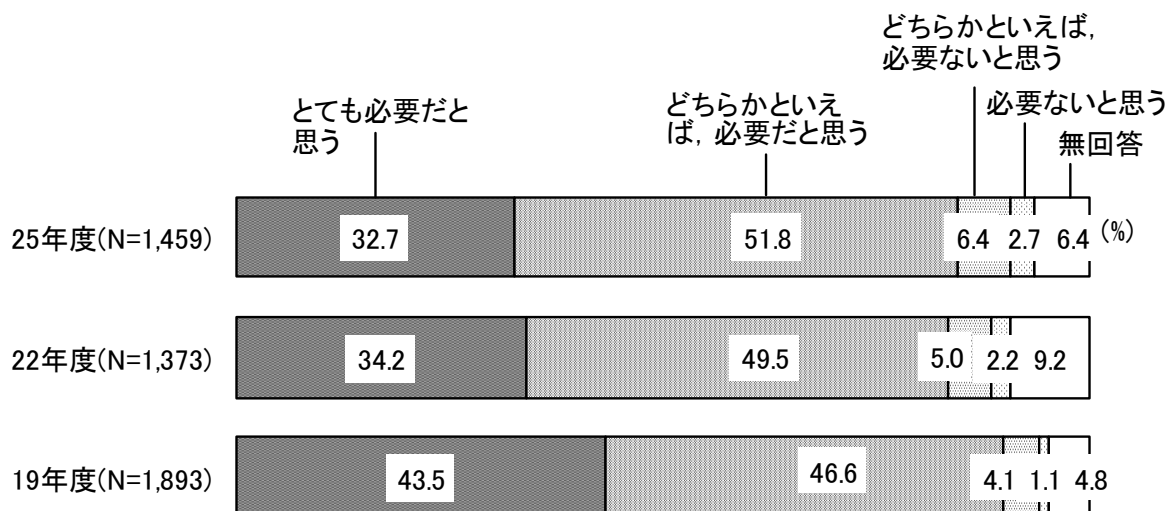
近所づきあい別では親しく近所づきあいをしている人では「とても必要だと思う」が54.5%と、より必要性を強く感じている様子が見える。

図表 2-45 地域のつながりの必要性（全体、性・年代別、居住地域別、近所づきあい別）

			とても必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要ないと思う	無回答	
全 体		(N=1,459)	32.7	51.8	6.4	2.7	6.4	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	35.2	47.9	9.9	3.5	3.5
		70～74歳	(n=169)	40.2	46.2	8.3	0.6	4.7
		75～79歳	(n=125)	36.0	55.2	4.0	0.8	4.0
		80～84歳	(n=87)	39.1	43.7	4.6	3.4	9.2
		85歳以上	(n=45)	26.7	57.8	2.2	4.4	8.9
女性	65～69歳	(n=201)	24.4	58.7	10.0	2.0	5.0	
	70～74歳	(n=187)	33.2	54.0	5.9	3.2	3.7	
	75～79歳	(n=162)	32.1	52.5	4.3	3.7	7.4	
	80～84歳	(n=122)	29.5	55.7	4.9	2.5	7.4	
	85歳以上	(n=94)	34.0	45.7	5.3	4.3	10.6	
居住地域別	第1地域	(n=70)	31.4	52.9	4.3	2.9	8.6	
	第2地域	(n=227)	37.0	48.5	6.6	3.1	4.8	
	第3地域	(n=125)	36.8	47.2	8.8	1.6	5.6	
	第4地域	(n=96)	30.2	51.0	12.5	4.2	2.1	
	第5地域	(n=94)	29.8	55.3	5.3	3.2	6.4	
	第6地域	(n=129)	25.6	57.4	4.7	1.6	10.9	
	第7地域	(n=265)	30.9	52.8	7.5	2.6	6.0	
	第8地域	(n=168)	36.3	51.8	4.8	3.0	4.2	
	第9地域	(n=122)	30.3	56.6	4.9	3.3	4.9	
	第10地域	(n=118)	33.1	52.5	5.9	1.7	6.8	
近所づきあい別	親しく近所づきあいをしている	(n=198)	54.5	33.8	3.5	2.0	6.1	
	立ち話をする程度のつきあいをしている	(n=595)	36.1	54.5	4.9	1.2	3.4	
	あいさつする程度のつきあいをしている	(n=491)	25.3	56.4	9.0	3.5	5.9	
	近所づきあいをしていない	(n=148)	17.6	55.4	9.5	7.4	10.1	

地域のつながりの必要性については、19年度以降3回の調査とも「どちらかといえば、必要だと思う」が最も多く、「とても必要だと思う」が続いている。

図表 2-46 地域のつながりの必要性（全体）【前回比較】



(2) 地域のつながりを感じる程度（問 30）

問 30 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）はあると感じますか。（1つに○）

地域のつながりを感じる程度は、「とても感じる（8.4%）」と「少し感じる（35.4%）」を合わせると、《感じる》は43.8%である。一方、「あまり感じない（34.2%）」と「感じない（15.5%）」を合わせると、《感じない》は49.7%であり、《感じる》を上回っている。

日常生活圏域別では東部で、居住地域別では第1地域、第2地域、第7地域でそれぞれ「とても感じる」が1割を超えている。

近所づきあい別では、親しく近所づきあいをしている人では「とても感じる（26.8%）」が他と比べ高い割合となっている。

Ⅱ アンケート調査の結果

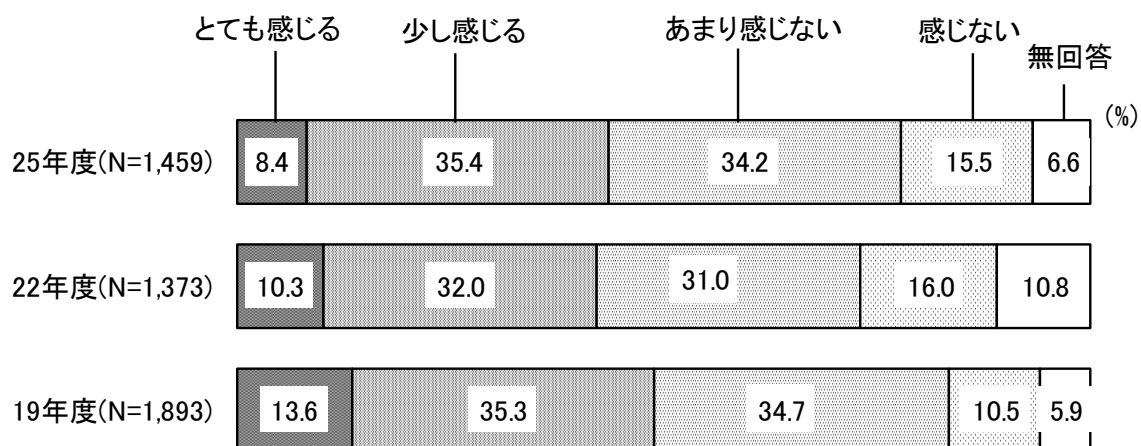
図表 2-47 地域のつながりを感じる程度

(全体、性・年代別、日常生活圏域別、居住地域別、近所づきあい別)

			とても感じる	少し感じる	あまり感じない	感じない	無回答	
							(%)	
全 体		(N=1,459)	8.4	35.4	34.2	15.5	6.6	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	6.3	36.6	35.2	18.3	3.5
		70～74歳	(n=169)	10.7	31.4	34.3	18.9	4.7
		75～79歳	(n=125)	4.0	39.2	36.8	13.6	6.4
		80～84歳	(n=87)	11.5	36.8	26.4	16.1	9.2
		85歳以上	(n=45)	11.1	26.7	31.1	22.2	8.9
女性	65～69歳	(n=201)	4.5	28.9	42.8	16.9	7.0	
	70～74歳	(n=187)	9.6	37.4	35.8	13.9	3.2	
	75～79歳	(n=162)	8.6	42.0	27.8	16.0	5.6	
	80～84歳	(n=122)	8.2	44.3	30.3	9.0	8.2	
	85歳以上	(n=94)	12.8	31.9	33.0	12.8	9.6	
日常生活圏域別	東部	(n=348)	11.5	37.1	32.2	14.1	5.2	
	西部	(n=240)	4.6	37.5	37.5	15.8	4.6	
	南部	(n=518)	8.7	35.3	34.2	14.9	6.9	
	北部	(n=308)	7.1	33.8	34.7	18.2	6.2	
居住地域別	第1地域	(n=70)	17.1	30.0	34.3	10.0	8.6	
	第2地域	(n=227)	10.1	41.4	30.0	14.1	4.4	
	第3地域	(n=125)	8.0	26.4	41.6	17.6	6.4	
	第4地域	(n=96)	8.3	37.5	31.3	19.8	3.1	
	第5地域	(n=94)	5.3	38.3	31.9	17.0	7.4	
	第6地域	(n=129)	7.8	34.9	30.2	17.8	9.3	
	第7地域	(n=265)	10.6	34.3	33.2	16.2	5.7	
	第8地域	(n=168)	6.5	35.7	38.7	11.9	7.1	
	第9地域	(n=122)	2.5	34.4	41.8	17.2	4.1	
	第10地域	(n=118)	6.8	40.7	33.1	14.4	5.1	
近所づきあい別	親しく近所づきあいをしている	(n=198)	26.8	43.4	16.2	8.1	5.6	
	立ち話をする程度のつきあいをしている	(n=595)	8.1	45.0	33.4	9.2	4.2	
	あいさつする程度のつきあいをしている	(n=491)	4.3	28.9	42.6	19.3	4.9	
	近所づきあいをしていない	(n=148)	0.0	10.8	38.5	39.2	11.5	

前回と比較すると、19年度から3回の調査で共通して「少し感じる」が「あまり感じない」をわずかに上回っている。

図表 2-48 地域のつながりを感じる程度（全体）【前回比較】

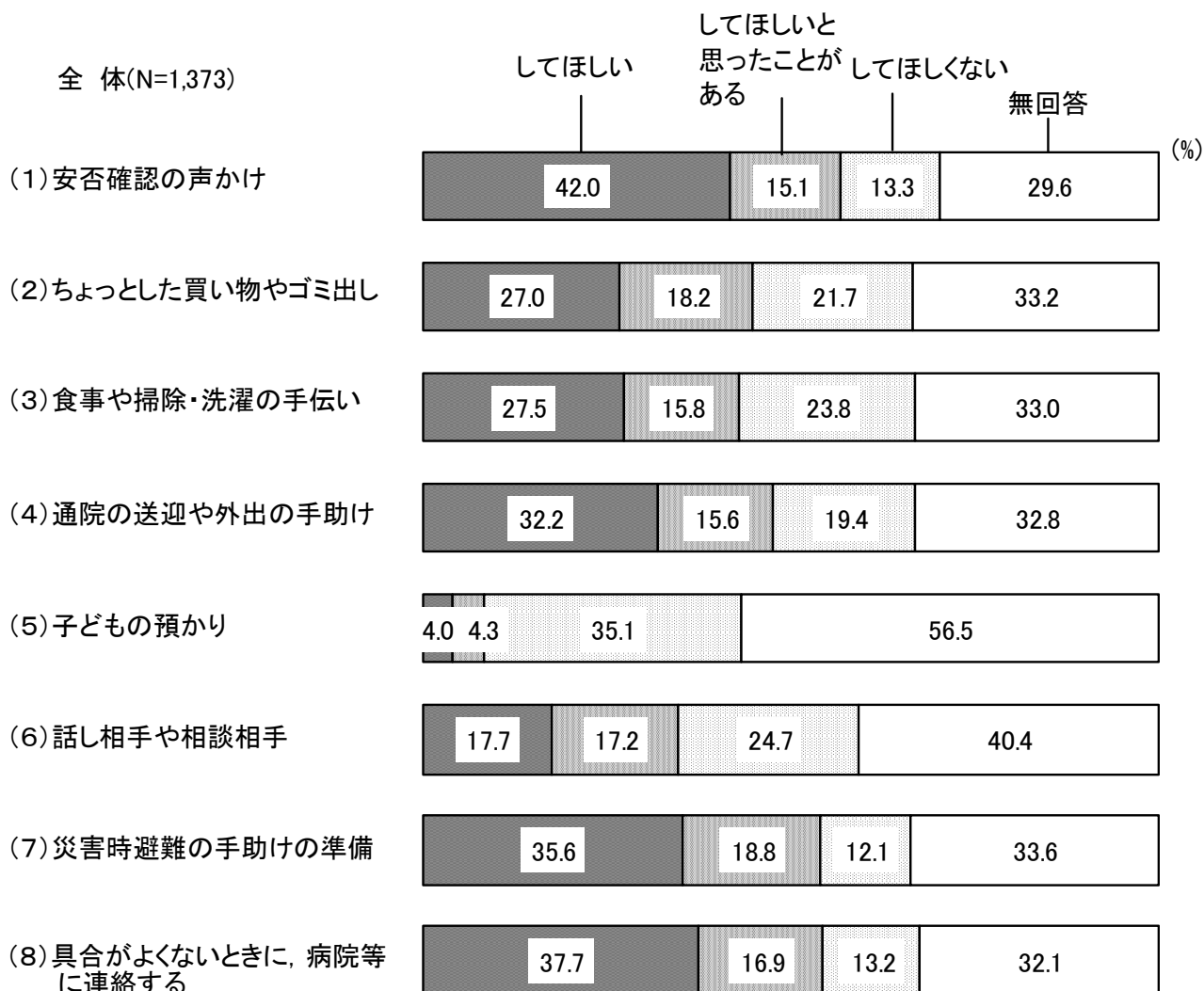


(3) 介護が必要になったときに、してほしい手助け（問 31）

問 31 あなたは介護が必要になったときに、次のような手助けをしてほしいと思いますか。
（それぞれ1つに○）

8つの項目について手助けの意向をたずねたところ、「してほしい」の割合は、『安否確認の声かけ（42.0%）』が最も多く、『具合がよくないときに、病院等に連絡する（37.7%）』、『災害時避難の手助けの準備（35.6%）』が続いている。「してほしい」「してほしいと思ったことがある」を合わせると、最も多い『安否確認の声かけ』は57.1%となっている。

図表 2-49 介護が必要になったときに、してほしい手助け（全体）



10 災害時の対応

(1) 緊急時に一人で避難すること（問32）

問 32 あなたは、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。（1つに○）

緊急時の避難については、「一人で判断し、避難できる」が74.1%となっている。一方、「一人で判断できるが、避難はできない（13.2%）」、「一人では判断できないし、避難もできない（7.5%）」を合わせると、「避難できない」は20.7%である。性・年代別にみると、男女とも年代が上がるにつれ「一人で判断し、避難できる」の割合が低くなり、男性の85歳以上は53.3%、女性の85歳以上は28.7%となっている。

家族構成別では、ひとり暮らしで「一人で判断できるが、避難はできない（17.6%）」と「一人では判断できないし、避難もできない（9.8%）」と合わせると『避難できない』との回答は27.4%となる。

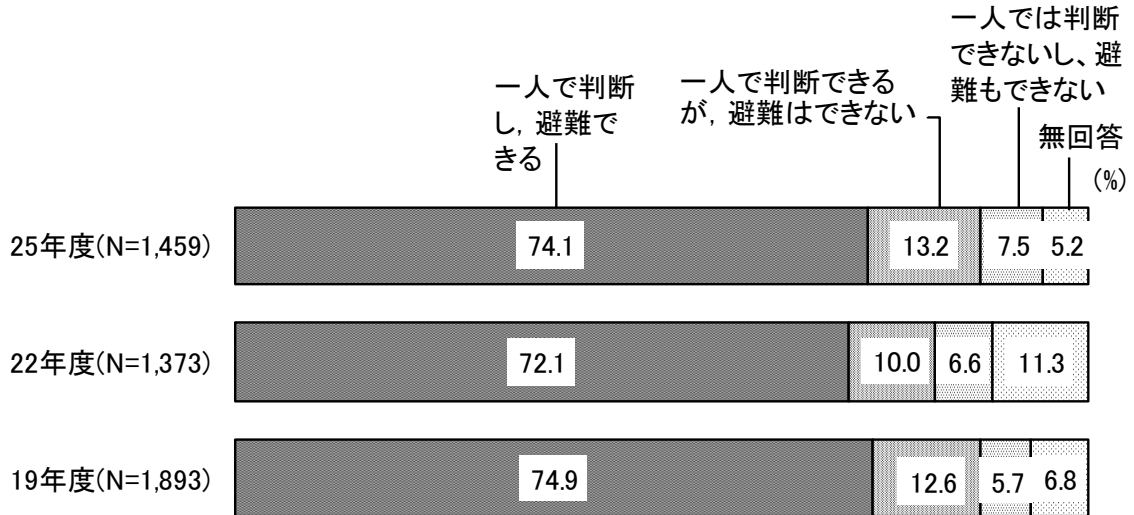
図表 2-50 緊急時に一人で避難すること（全体、性・年代別、家族構成別）

			で一人 で判断し 、避難	が一人 で判断は できない	いい一人 では判断 もできな	無 回答	
全 体		(N=1,459)	74.1	13.2	7.5	5.2	
性・年代別	男性	65～69歳	(n=142)	88.7	3.5	2.1	5.6
		70～74歳	(n=169)	87.6	5.3	3.0	4.1
		75～79歳	(n=125)	84.0	9.6	4.8	1.6
		80～84歳	(n=87)	72.4	13.8	6.9	6.9
		85歳以上	(n=45)	53.3	24.4	17.8	4.4
	女性	65～69歳	(n=201)	87.1	7.5	2.5	3.0
		70～74歳	(n=187)	80.7	10.7	5.3	3.2
		75～79歳	(n=162)	69.8	19.8	4.9	5.6
		80～84歳	(n=122)	51.6	29.5	11.5	7.4
		85歳以上	(n=94)	28.7	27.7	35.1	8.5
家族構成別	ひとり暮らし	(n=296)	66.9	17.6	9.8	5.7	
	夫婦のみ（配偶者は65歳以上）	(n=571)	78.5	12.3	3.9	5.4	
	夫婦のみ（配偶者は65歳未満）	(n=65)	87.7	4.6	4.6	3.1	
	上記構成以外で世帯全員が65歳以上	(n=33)	78.8	9.1	12.1	0.0	
	その他	(n=458)	72.1	12.9	10.9	4.1	

II アンケート調査の結果

前回調査と比べると，19年度から3回の調査でほぼ同様の傾向で，「一人で判断し，避難できる」との回答が70%を超えている。

図表 2-51 緊急時に一人で避難すること（全体）【前回比較】



(2) 緊急時の避難の際、手助けを頼める人の有無（問 32-1）

問 32-1 災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。（1つに○）

《一人で避難できない》人に、緊急時の避難の際、手助けを頼める人の有無をたずねた。「いる」が56.6%、「いない」が25.8%、「分からない」が15.2%となっている。

居住地域別にみると、第3地域で「いない（41.7%）」が高くなっている。家族構成別でみると、ひとり暮らしで「いない（46.9%）」が「いる（34.6%）」を12.3ポイント上回っている。

図表 2-52 緊急時の避難の際、手助けを頼める人の有無（全体、居住地域別、家族構成別）

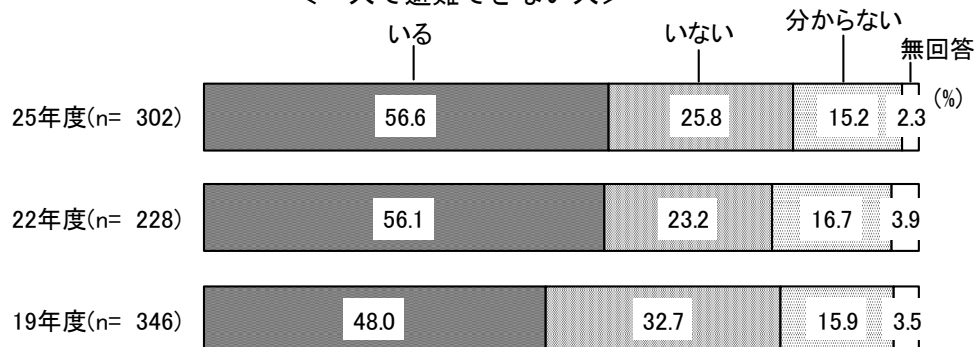
＜一人で避難できない人＞

		(%)			
		いる	いない	な分 いから	無 回 答
全	体 (N=1,459)	56.6	25.8	15.2	2.3
居 住 地 域 別	第1地域 (n=70)	60.0	20.0	13.3	6.7
	第2地域 (n=227)	52.5	27.5	17.5	2.5
	第3地域 (n=125)	50.0	41.7	8.3	0.0
	第4地域 (n=96)	60.0	20.0	20.0	0.0
	第5地域 (n=94)	68.2	31.8	0.0	0.0
	第6地域 (n=129)	48.1	37.0	11.1	3.7
	第7地域 (n=265)	50.0	24.2	24.2	1.6
	第8地域 (n=168)	62.9	20.0	17.1	0.0
	第9地域 (n=122)	56.5	26.1	13.0	4.3
	第10地域 (n=118)	70.4	14.8	11.1	3.7
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=296)	34.6	46.9	17.3	1.2
	夫婦のみ（配偶者は65歳以上） (n=571)	53.3	26.1	17.4	3.3
	夫婦のみ（配偶者は65歳未満） (n=65)	50.0	0.0	50.0	0.0
	上記構成以外で世帯全員が65歳以上 (n=33)	71.4	14.3	14.3	0.0
	その他 (n=458)	77.1	11.9	9.2	1.8

前回調査と比べると、「いる」の割合は調査を重ねるごとに高くなり25年度は56.6%であるが、「いない」、「分からない」を合わせると平成25年度で41.0%となっている。

図表 2-53 緊急時の避難の際、手助けを頼める人の有無（全体）【前回比較】

＜一人で避難できない人＞

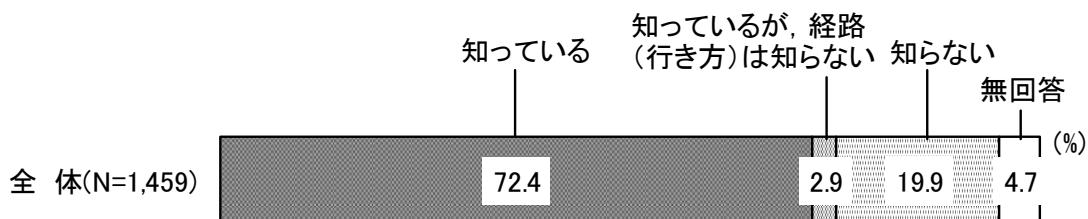


(3) 広域避難場所の認知 (問 33)

問 33 あなたの家に一番近い広域避難場所を知っていますか。(1つに○)

広域避難場所の認知状況をたずねた。「知っている」が72.4%、「知っているが、経路(行き方)は知らない」が2.9%、「知らない」が19.9%となっている。

図表 2-54 広域避難場所の認知 (全体)

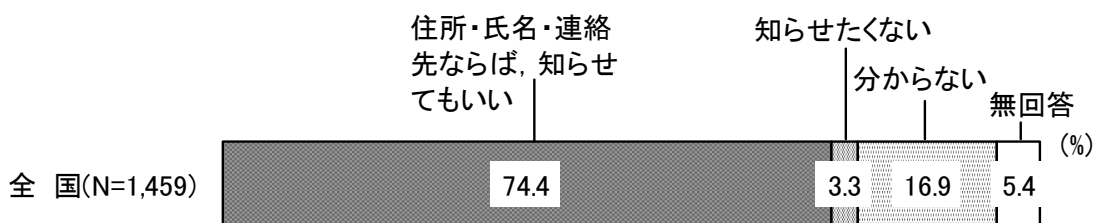


(4) 災害時に備え、自治会、地区協議会、防災市民組織に住所等を事前に知らせておくことについて (問 34)

問 34 あなたは、災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、自治会、地区協議会、防災市民組織へ、住所・氏名・連絡先などの情報を事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(1つに○)

災害時に備え自治会等に住所等を事前に知らせておくことは、「住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい」が74.4%、「知らせたくない」が3.3%、「分からない」が16.9%となっている。

図表 2-55 災害時に備え、自治会、地区協議会、防災市民組織に住所等を事前に知らせておくことについて (全体)

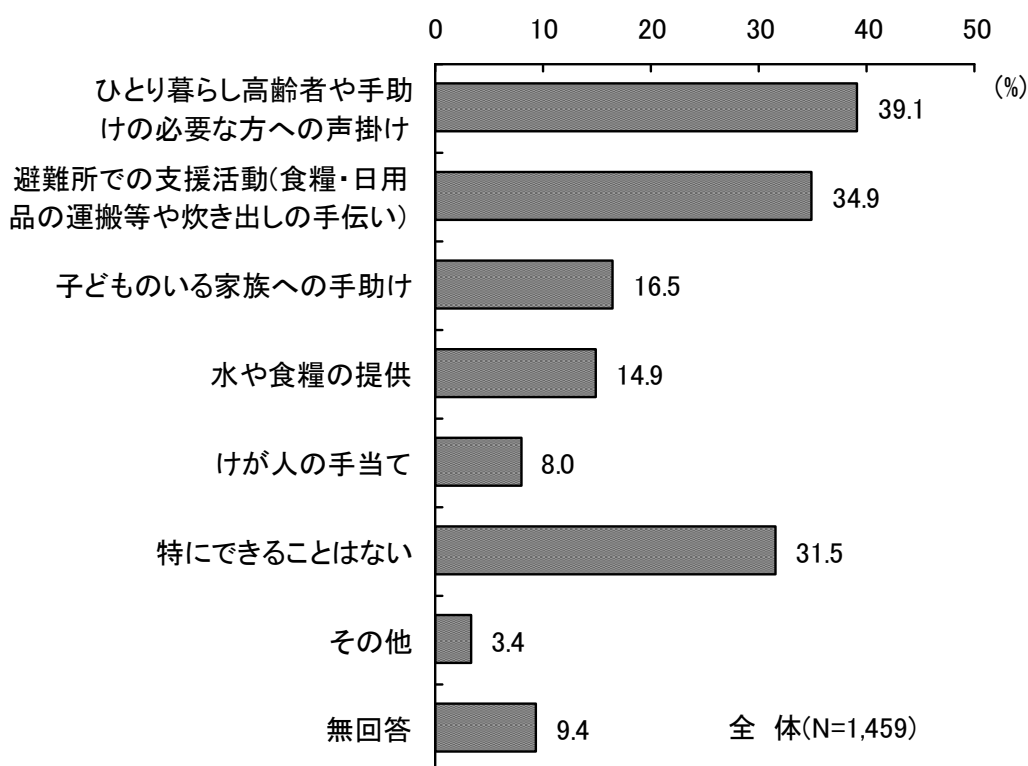


(5) 災害時に地域のためにできること（問 35）

問 35 あなたは、災害時に手助けが必要な地域の方に対してできることはありますか。（いくつかでも○）

災害時に手助けが必要な地域の方に対してできることをたずねたところ、「ひとり暮らし高齢者や手助けの必要な方への声掛け（39.1%）」が最も多く、「避難所での支援活動（食糧・日用品の運搬等や炊き出しの手伝い）（34.9%）」が続いている。「特にできることはない」は31.5%となっている。

図表 2-56 災害時に地域のためにできること（全体：複数回答）



11 高齢者の権利擁護

(1) 権利擁護の制度や窓口の認知状況（問 36）

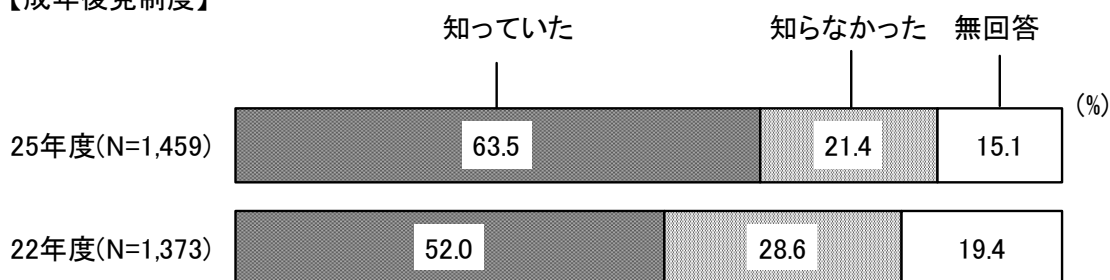
問 36 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたが知っていたものはありますか。（（1）～（8）までそれぞれ1つに○）

権利擁護の制度や窓口の認識状況について、「知っていた」の割合は、『成年後見制度（63.5%）』、『調布市社会福祉協議会（56.3%）』が高くなっている。一方、『多摩南部成年後見センター』は6.5%にとどまっている。

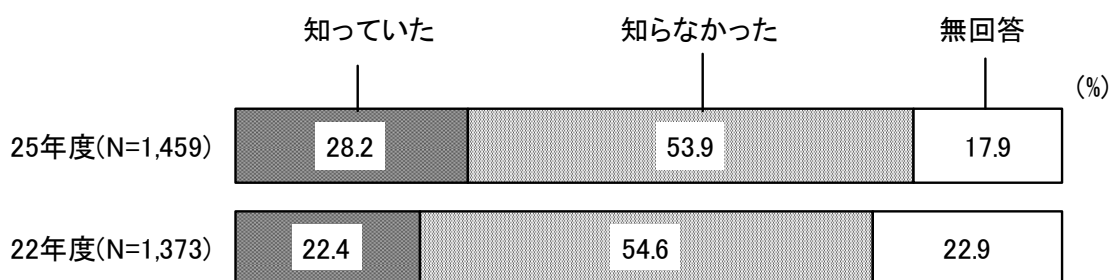
前回調査と比べると、「知っていた」の割合はいずれの制度、窓口も認知度は22年度調査よりも高くなっており、特に『成年後見制度』は22年度は52.0%、25年度は63.5%で11.5ポイント高く、また、『高齢者虐待防止法』は22年度は26.1%、25年度は36.5%で10.4ポイント高くなっている。

図表 2-57 権利擁護の制度や窓口の認知状況（全体）

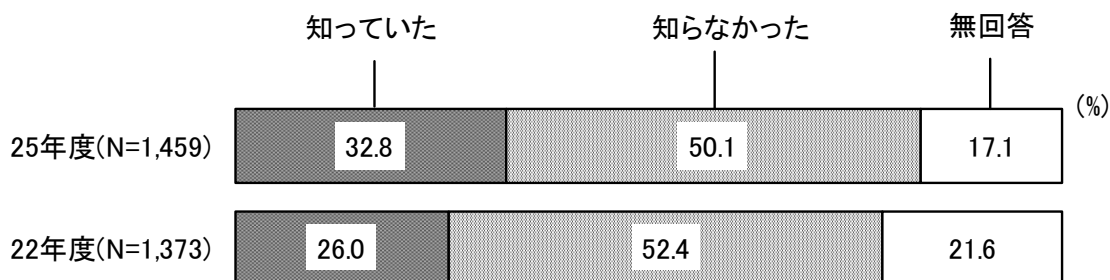
【成年後見制度】



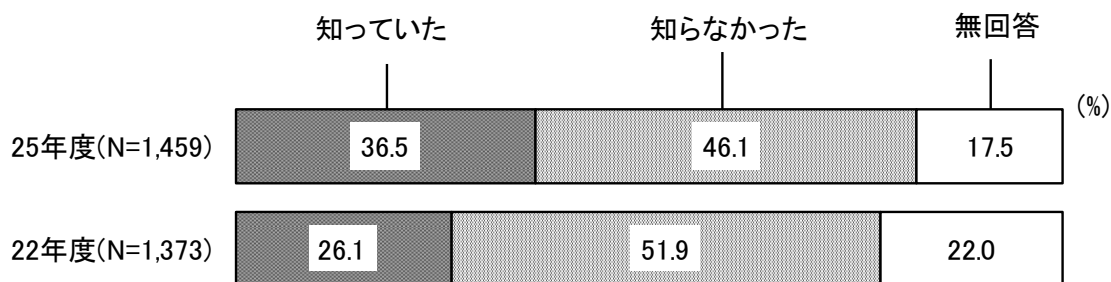
【日常生活自立支援事業】 ※22年度は地域福祉権利擁護事業



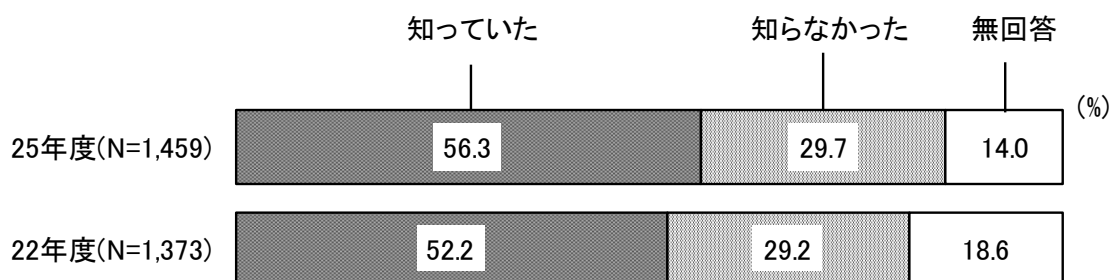
【見守りネットワーク（みまもっと）】



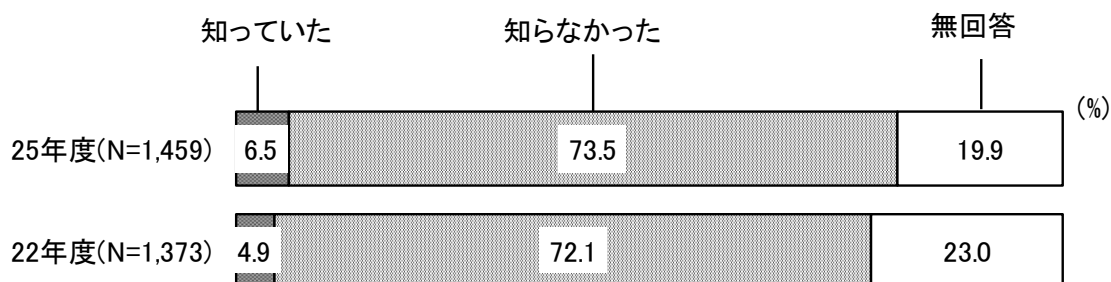
【高齢者虐待防止法】



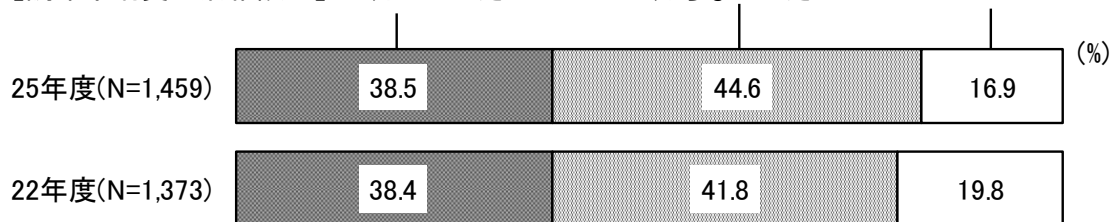
【調布市社会福祉協議会】



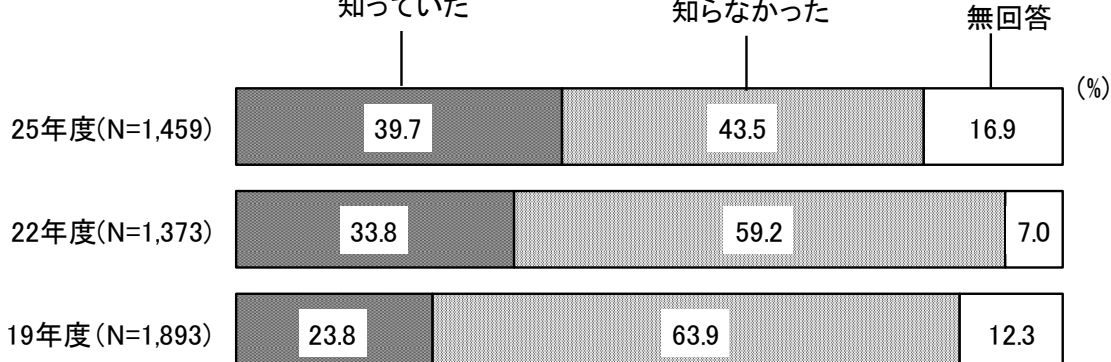
【多摩南部成年後見センター】



【調布市消費生活相談室】



【地域包括支援センター】

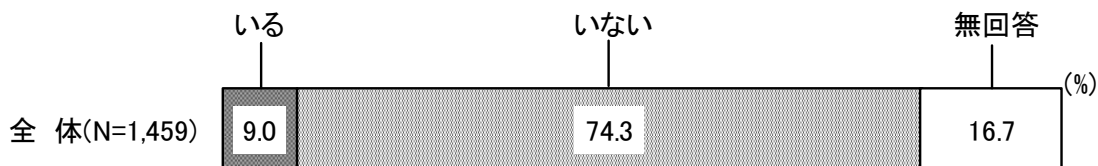


(2) 権利擁護に関して地域で困っている人の状況（問 37）

問 37 あなたのまわり（あなたご本人も含む）に、権利擁護に関することでお困りと思われる方はいらっしゃいますか。（1つに○）

地域で困っている人は「いる」が9.0%である。

図表 2-58 権利擁護に関して地域で困っている人の状況（全体）



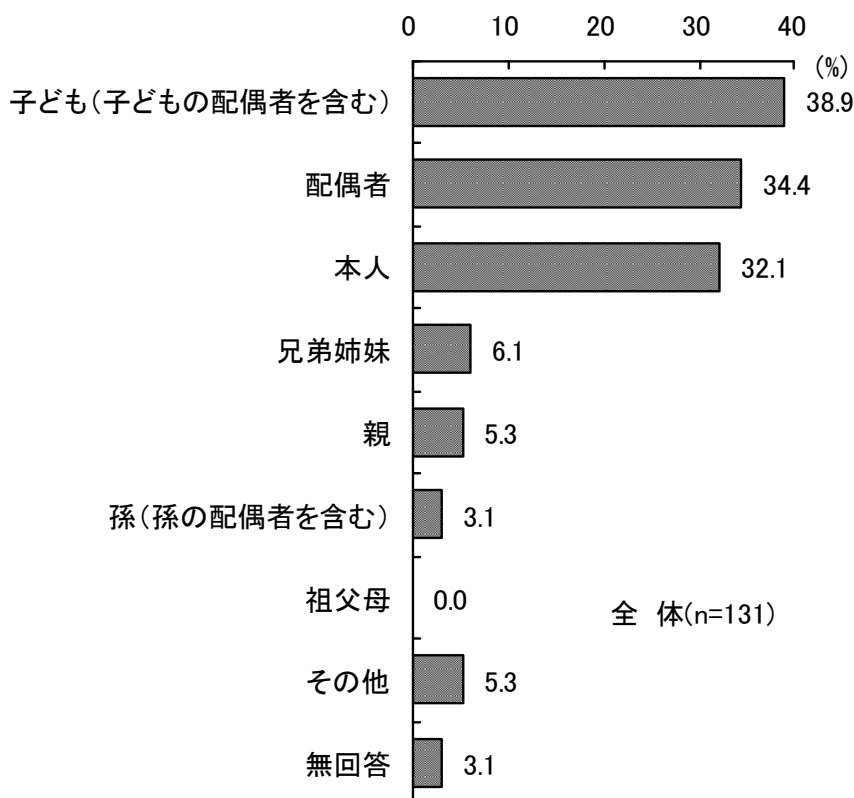
(3) 権利擁護に関して地域で困っている人（問 37-1）

問 37-1 問 37 で「いる」と答えた方におたずねします。それはどなたですか。（いくつでも○）

困っている人が「いる」と回答した人に、困っている人は誰かたずねたところ、「子ども（子どもの配偶者を含む）（38.9%）」が最も多く、「配偶者（34.4%）」、「本人（32.1%）」などが続いている。

図表 2-59 権利擁護に関して地域で困っている人（全体：複数回答）

<困っている人が「いる」と回答した人>



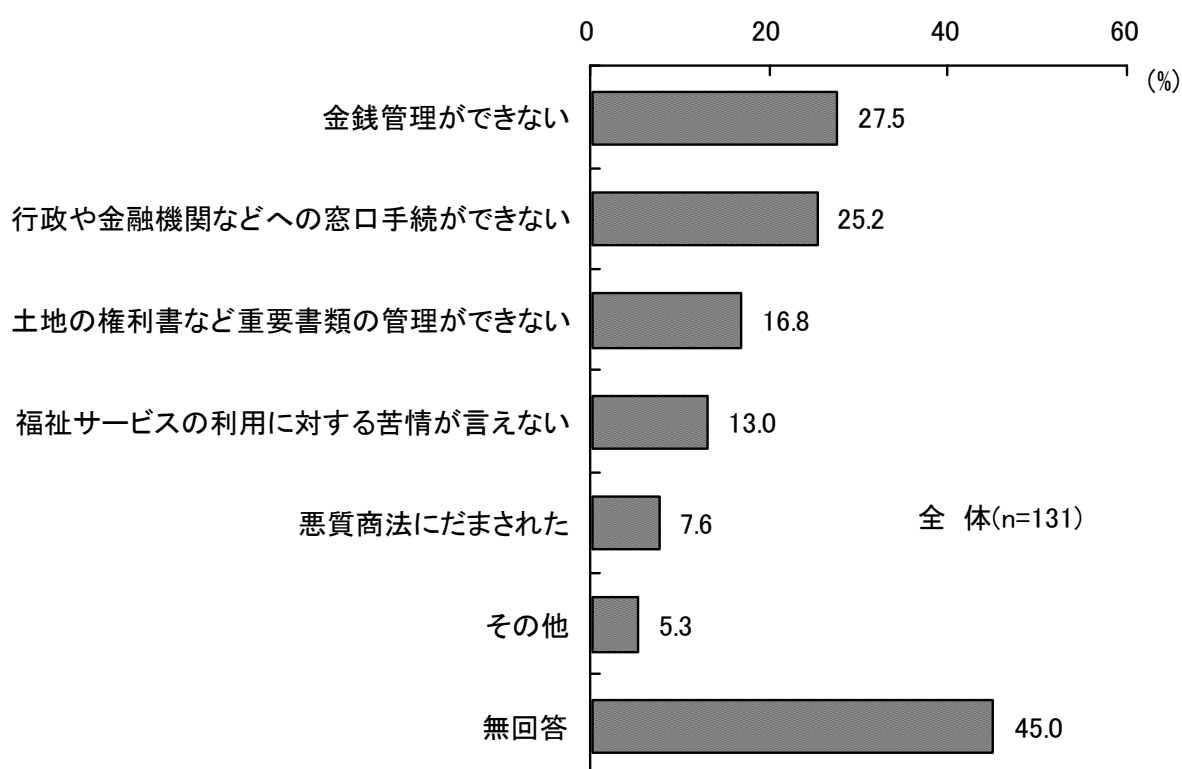
(4) 権利擁護に関して地域で困っている事例（問 37-2）

問 37-2 問 37 で「いる」と答えた方におたずねします。それはどのような事例ですか。（いくつでも〇）

困っている人が「いる」と回答した人に、事例をたずねたところ、「金銭管理ができない（27.5%）」、「行政や金融機関などへの窓口手続きができない（25.2%）」などとなっている。

図表 2-60 権利擁護に関して地域で困っている事例（全体：複数回答）

<困っている人が「いる」と回答した人>



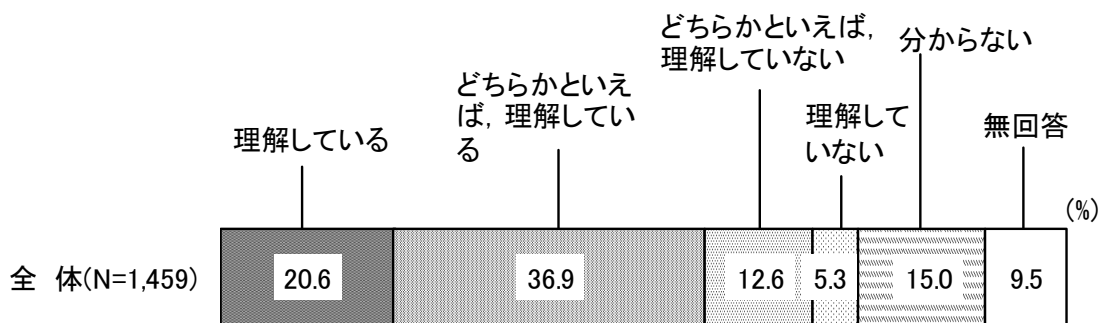
12 調布市の高齢者保健福祉施策

(1) 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解（問 38）

問 38 調布市では、人々が高齢者や障害者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなた自身は理解していると思いますか。
（1つに○）

「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方への理解についてたずねたところ、「理解している（20.6%）」と「どちらかといえば、理解している（36.9%）」を合わせた《理解している》は57.5%となっている。

図表 2-61 市民全体が互いの人格と個性を尊重し合う地域社会の実現についての理解（全体）

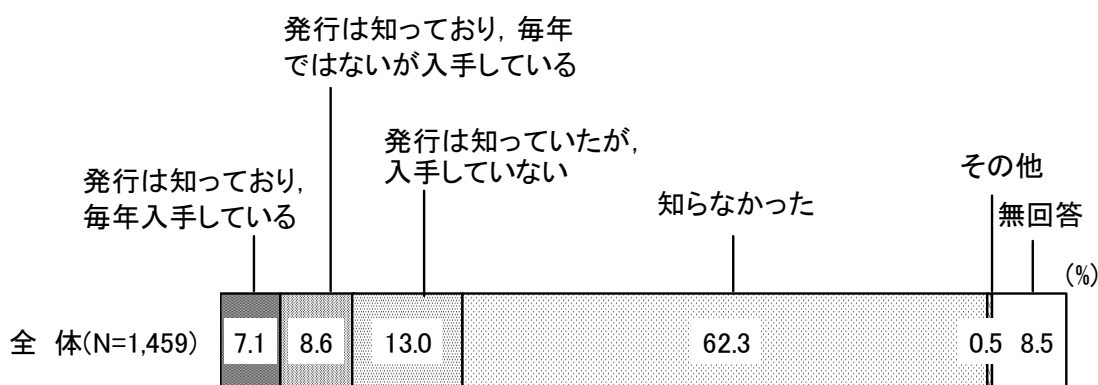


(2) 「くらしの案内～シルバー編～」の認識状況（問 39）

問 38 調布市では、高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするために、毎年、高齢者保健福祉サービスを掲載した冊子「くらしの案内～シルバー編～」を発行しています。このことを知っていましたか。（1つに○）

「くらしの案内～シルバー編～」の認識状況は、「発行は知っており、毎年入手している（7.1%）」、「発行は知っており、毎年ではないが入手している（8.6%）」、「発行は知っていたが、入手していない（13.0%）」を合わせると、《知っている》は28.7%である。なお、「知らなかった」は62.3%となっている

図表 2-62 「くらしの案内～シルバー編～」の認識状況（全体）

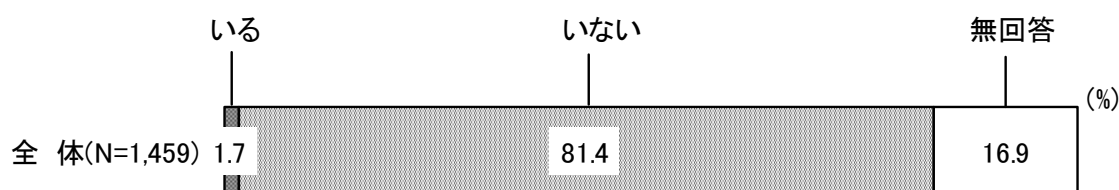


(3) 公的な福祉サービスで対応できないことで困っている人の有無（問 40）

問 40 あなたと、あなたのまわりに、介護保険サービスや市が行う高齢者向けサービスなどの公的な福祉サービスでは対応できないことで困っている方はいらっしゃいますか。（1つに○）

公的な福祉サービスで対応できないことで困っている人の有無は、「いる」が1.7%となっている。

図表 2-63 公的な福祉サービスで対応できないことで困っている人の有無（全体）



(4) 公的な福祉サービスで対応できないことで困っている人の事例（問 40-1）

問 40-1 お困りの方はどなたで、どのようなことでお困りですか、下の欄に具体的にご記入ください。

問 40 で、公的な福祉サービスで対応できないことで困っている人がいると回答した人に、具体的な状況を自由記述形式でたずねたところ、全体で 41 件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

（老老介護に関すること）

- ・ 80 歳の夫がパーキンソンとレヴィ小体型認知症を患っています。老老の自宅介護が無理となり現在介護付きの民間の老人ホームに入っていますが、本人は自宅での生活を切望しています。夜間のホームサービスがあれば何とか自宅での生活が可能と考えているのですが。（女性，75～79 歳）
- ・ 介護している妻が急病などで倒れたりすると、介護してもらえなくなるので生活が不安。（男性，75～79 歳）

（サービスに関すること）

- ・ 母が特養を申し込んでいるが何年たっても順番が来ない。（男性，65～69 歳）
- ・ 知人。トイレが間に合わないのにおむつのサービスが止められた。（女性，70～74 歳）

（ひとり暮らし高齢者に関すること）

- ・ 家に閉じこもりがちの高齢者に対する積極的な対策が必要なのでは。最初は訪問を嫌がられても何度も訪問し信頼関係を確立すること。孤独死のニュースがあまりにも多すぎる。（男性，70～74 歳）

（費用に関すること）

- ・ 入院費の支払いが大変。（男性，85 歳以上）

（移動に関すること）

- ・ 私ども夫婦は高齢で足や腰を患い、3階の階段の昇り下りに苦勞しております。後どのくらい頑張れるか不安です。エレベーターをつける補助とか、かなわぬことを夢見しています。（女性，75～79 歳）

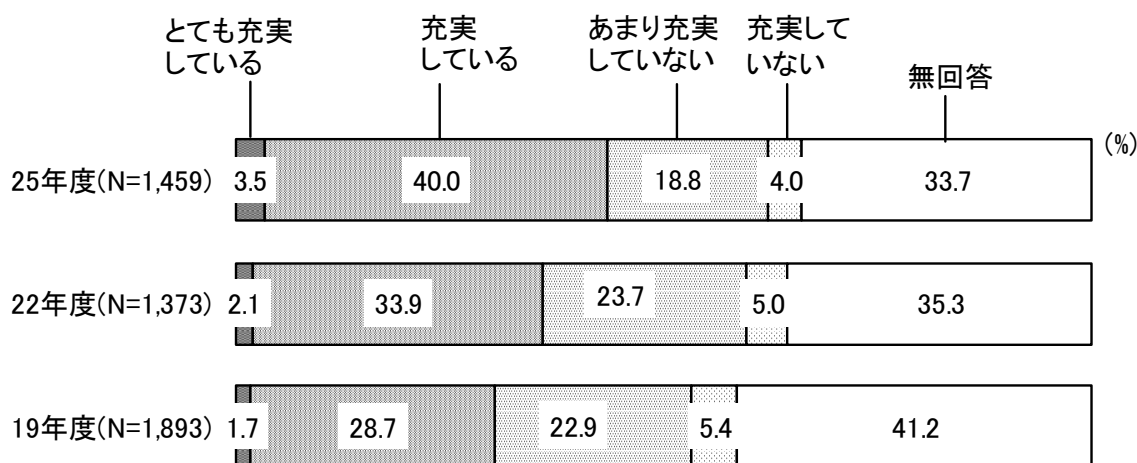
(5) 高齢者保健福祉施策全般についての実感（問 41）

問 41 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）全般について、あなたはどのように感じますか。（1つに○）

高齢者保健福祉施策（サービス）全般の充実についての満足度は、「とても充実している（3.5%）」と「充実している（40.0%）」を合わせた《充実している》は43.5%となっている。一方、「あまり充実していない（18.8%）」と「充実していない（4.0%）」を合わせると《充実していない》は22.8%となっている。

平成19年度からほぼ同様の傾向で「充実している」が最も多く、「あまり充実していない」が続いているが、「あまり充実していない」の回答を見ると平成25年度は18.8%とこれまでの調査に比べ低い割合となっている。

図表 2-64 高齢者保健福祉施策全般についての実感（全体）【前回比較】



(6) 高齢者保健福祉施策全般について力を入れるべきこと（問 42）

問 42 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）全般について、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。（いくつでも○）

高齢者保健福祉施策について力を入れるべきことは、全体では、「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援（41.7%）」が最も多く、「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援（38.7%）」、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備（37.6%）」、「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ）（34.1%）」が続いている。

性・年代別にみると、男性の65～69歳では「働く機会や場所づくり」が33.8%で他の性・年代より高い割合となっている。また、女性の65～69歳では「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援（49.3%）」をはじめ多くの項目で他の性・年代より高い割合となっている。

Ⅱ アンケート調査の結果

図表 2-65 高齢者保健福祉施策全般について力を入れるべきこと

(全体、性・年代別：複数回答)

		(%)											
		援 介 め 護 の 健 康 づ く り に 不 ら ぬ 支 持	含 一 う 人 地 対 域 暮 づ ら し な ど の 支 持	特 別 の 養 護 老 人 ホ ー ム な ど	シ ョ ー ム ヘ ル ス サ ー ビ ス の 充 実	介 護 保 険 サ ー ビ ス の 充 実	趣 味 や 生 き が い づ く り の 支 持	付 加 的 サ ー ビ ス の 充 実 （ 紙 お む つ の 給 付 な ど ）	サ ー ビ ス の 充 実 （ 配 食 福 祉 給 付 な ど ）	安 全 保 障 制 度 改 革 へ の 支 持	低 所 得 者 等 へ の 支 持	差 異 が な く し や の 支 持	
全 体 (N=1,459)		41.7	38.7	37.6	34.1	30.2	23.6	22.5	22.1	21.6			
性・年代別	男性	65～69歳 (n=142)	38.7	40.1	39.4	32.4	36.6	23.2	30.3	25.4	17.6		
		70～74歳 (n=169)	39.6	40.2	36.7	30.8	35.5	23.7	21.9	30.8	17.8		
		75～79歳 (n=125)	46.4	38.4	31.2	36.8	36.0	15.2	20.0	25.6	20.0		
		80～84歳 (n=87)	43.7	35.6	35.6	31.0	23.0	18.4	23.0	17.2	28.7		
		85歳以上 (n=45)	24.4	22.2	40.0	33.3	17.8	26.7	13.3	13.3	17.8		
	女性	65～69歳 (n=201)	45.3	49.3	46.3	44.8	39.3	27.4	26.9	21.9	22.9		
		70～74歳 (n=187)	48.1	39.6	39.6	31.6	31.0	27.3	26.7	24.1	21.4		
		75～79歳 (n=162)	45.1	36.4	37.7	27.2	18.5	24.1	20.4	19.8	25.9		
		80～84歳 (n=122)	35.2	38.5	36.1	33.6	23.0	24.6	21.3	16.4	23.8		
		85歳以上 (n=94)	29.8	31.9	28.7	33.0	17.0	26.6	16.0	11.7	24.5		
全 体 (N=1,459)		17.1	14.5	14.3	14.1	10.2	6.6	2.0	9.1	9.9			
性・年代別	男性	65～69歳 (n=142)	33.8	16.2	12.0	14.8	7.0	4.9	0.7	9.9	6.3		
		70～74歳 (n=169)	22.5	22.5	13.0	17.8	11.8	8.9	3.0	5.3	6.5		
		75～79歳 (n=125)	12.0	15.2	17.6	16.8	7.2	6.4	0.8	10.4	6.4		
		80～84歳 (n=87)	12.6	9.2	18.4	12.6	10.3	3.4	2.3	8.0	16.1		
		85歳以上 (n=45)	8.9	13.3	13.3	6.7	15.6	6.7	2.2	11.1	17.8		
	女性	65～69歳 (n=201)	25.9	14.9	13.9	19.4	13.4	10.4	4.0	7.0	6.5		
		70～74歳 (n=187)	15.0	16.6	15.5	16.0	10.2	7.0	1.6	8.6	8.0		
		75～79歳 (n=162)	6.8	14.2	13.0	8.6	11.7	5.6	2.5	8.6	12.3		
		80～84歳 (n=122)	10.7	10.7	18.9	13.9	9.0	4.9	2.5	9.8	10.7		
		85歳以上 (n=94)	5.3	9.6	10.6	6.4	8.5	4.3	0.0	19.1	19.1		

13 市への要望

「高齢者の生きがいと地域生活に関する調査（高齢者調査）」において、高齢者がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現するための取組などについての意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、318件の回答があった。以下に主なものを掲載する。

(1) まち・環境・地域づくりについて (35件)

- ・若葉町はよく空き巣に入られると耳にするんですが、現状はいかなものでしょうか。十分戸締りとか気をつけているのですが夜中などは目が覚めると不安で眠れなくなります。夜間パトロールなどお願いできたらありがたく思います。(女性, 70～74歳)
- ・調布市内の歩行者道路が狭く非常に危険です。改善を希望します(男性, 75～79歳)
- ・歩行者、自転車の通行帯を作ってほしいです。車道と歩行者の段差をなくしてほしい。車椅子の走行に非常に不便です。狭い歩道に突き出した商品、看板、また商店街に飛び出しているワゴンセールは狭い道路を使いにくくしています。(女性, 75～79歳)

(2) 生きがい・社会参加について (33件)

- ・生きがいをもち、できればいつまでも仕事をすれば元気な高齢者で居られ、社会に迷惑をかけずに終われると思います。(男性, 70～74歳)
- ・主人は現在まだ働いていますが、間もなくリタイアします。まだ体力も気力もありそうなので“リタイア1年生に向けて”というような講座があるといいなと思います。もちろん各種ボランティア活動の紹介も含めて。(女性, 65～69歳)
- ・現在78歳ですが地域の老人会の活動もあり、家では趣味のPC、機械いじりができ、楽しい日々を過ごしております。加齢とともに考えも変わるとは思いますが、今のところ不安もなく暮らしております。(男性, 75～79歳)

(3) 市のサービスへの不満・要望 (27件)

- ・ひとりであっても自宅で生活できるようなシステムづくりが必要と思う。急激に高齢者が増加するといわれる中で皆々施設に収容して看取るということは無理。できるだけ自宅で、またはグループホームのような少し援助すれば生活していけるようなシステムづくり。(女性, 65～69歳, 抜粋)
- ・自宅での老老介護が続かず、現在民間の介護付き老人ホームへ主人を入所させています。本人は自宅介護を心から願っているのですが、夜間の介護が特に大変で実現できないでいます。夜間のヘルプサービスを切望します。(女性, 75～79歳)

(4) 健康づくり・医療について (26件)

- ・介護予防事業に参加させていただき、はりと楽しみをもつことができ有り難いと思っておりますが、スタッフの方がひとりでは大変だと思います。前年のようにあとひとりいて下さると年2回位の行事もできるとは思いますが。(女性, 75～79歳)
- ・深大寺地域は従来から今でも医者不足の地域と言われ、他の地域より遅れている現状です。医療化措置が早期に改善されるよう切望する。(男性, 80～84歳, 抜

粹)

(5) 施設について (24 件)

- ・集合住宅での生活も初めてで少々戸惑いましたが、ようやく慣れました。各地域に気軽に通えるコミュニティーセンター等があればよいと思います。(女性, 70～74 歳, 抜粋)
- ・特別養護老人ホームの増設。公共施設に入所できず私設に入る方が多いが、年金生活者には金銭的に無理なことだと思っています。今のところ頑張っていますが心配です。(女性, 80～84 歳, 抜粋)

(6) 高齢者の孤立・疎外感への対策や地域交流について (21 件)

- ・現在 88 歳ですが家人は会社員, 昼間は一人です。なので, 事故でもあると連絡が不安です。(女性, 85 歳以上)
- ・とても人見知りするので何をするにも自分から出向くことができにくい私です。何とか溶け込めるようにと頭の中では分かっているのですが, 思うだけで終わってしまいます。きっかけがあれば入っていくことができるのではないかと思います。何とか外に出て皆さんと楽しく過ごしたいと思っています。(女性, 75～79 歳)

(7) 保険料・税金等の経済的負担について (18 件)

- ・年金受給者ですが受取額が少なく今後何年生活ができるのか不安ばかりです。調布市の色々なサービスはすばらしいと思うけれど, 今後実際私が介護を受ける時は支払うお金が足りないので満足なサービスは受けられないようです。長生きを望むけれど福祉に頼り切れなと思うと残念でなりません。(女性, 65～69 歳, 抜粋)
- ・年金生活者のいろいろの税金が高い。もっと安くして。(男性, 75～79 歳)

(8) 自助努力が大切 (18 件)

- ・「万事自己責任」を基本として (公助的な取組みは極力排除), これに資する施策 (就業の機会づくり, 社会参加を促す仕組みづくり等) を主に取り組むこと。(男性, 70～74 歳)
- ・自分でできることは自分です。口先のみでなく, 心身ともに自立すること, 生きがいを持つこと。(女性, 65～69 歳, 抜粋)

(9) 相談・情報・PRの充実 (17 件)

- ・認知症の介護をしている家族ですが, 認知症についての地域の理解がとても足りないので回覧板や市報で市民が身近にわかる伝え方をしてほしい。学校教育にも道徳などボランティア活動に, 介護の実態を入れてください。(女性, 年齢不明, 抜粋)
- ・家族やお金のある人は良い生活 (老後) を送れるがひとりや障害者の子どもをもつ人は, どうして良いかもわからない人が多いと思う。相談する伝手も知らないなので, そんな人を見つけて相談に乗って欲しいと思います。(男性, 65～69 歳, 抜粋)

(10) 国や社会全体, 次世代に対する意見・要望 (12 件)

- ・住む所や生活費などの心配などなく生活できるような, やさしい愛にみちた社会

であってほしい。(女性, 70~74歳)

- ・超高齢化社会を迎えることになるのは必至なので、高齢者ばかりでなく全ての世代とともに意見交換しなければいけないと思う。(女性, 年齢不明)

(11) 施策・行政のあり方について (11件)

- ・支援や保護が必要な人には手厚い政策がありがたいが、年代だけでひとくくりにして制度化すると、自由がないように感じる人もいると思う。(女性, 65~69歳)
- ・高齢者のもっている技術や知識をもっと生かせるような施策をお願いしたい。(男性, 75~79歳)

(12) 福祉サービス全般について (11件)

- ・高齢の私が障害の子ども世話をしています。何でも地域でと言いますが、重度の障害になると安心して預けられるところは少ないです。どうか高齢者、障害者ともに安心して生活できる市であってと、切にお願い申し上げます。(女性, 65~69歳)
- ・街の中のバリアフリーの充実(ちょっとした段差)、介護やヘルパーさんの充実、特別養護老人ホームの充実、介護タクシーの充実。(女性, 65~69歳)

(13) 将来の生活・暮らしについて (9件)

- ・今の自分はまだ介護されたくありませんが、身体の具合が悪くなった時に介護をどのように依頼すればよいのかとても不安です。子どもたちは私たちの介護は無理だと思しますので、どのような方法が良いのか悩んでいます。(女性, 70~74歳)

(14) 今後勉強したい (7件)

- ・今まで身近な問題として考えていなかったと反省しています。これを機会にもっと真剣に考えたいと思います。(女性, 70~74歳)
- ・今後、高齢者の権利擁護制度等の勉強が必要であると感じます。問36以後の質問で、特に感じます。(男性, 70~74歳)

(15) 感謝 (17件)

- ・調布市の手厚い取組に感謝しています。(女性, 75~79歳)
- ・今年から介護サービスを父が受けていますがいろいろな面で素早く対応していただいております。いろいろと有り難うございます。(男性, 85歳以上)

(16) アンケートについて (13件)

- ・高齢者にこのような長いアンケートに回答することが難しいと思う。訪問しての質問にするべき、ただ書類を送付することが不満です。(女性, 80~84歳)
- ・この調査によって、今まで知らなかったことを知ることができた。この調査資料がまとまったら参考にしたいので資料をいただきたい。(女性, 80~84歳)

(17) その他 (19件)

- ・現在、特に支障なく生活しているので高齢者保健福祉施策として何が必要なのか具体的なイメージがもてない状況。数年後には全く違った回答になるかも知れない。(男性, 65~69歳)
- ・デイサービスを利用しています。とても楽しく過ごしています。娘たちは仕事の

Ⅱ アンケート調査の結果

ため、毎日デイサービスを活用しています。(女性, 85歳以上)